

南相馬市 住民意向調査 報告書

令和5年3月

復興庁
福島県
南相馬市

南相馬市 住民意向調査

報告書

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果（主要項目）	5
2-1 回答者の属性・状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2）	7
2-1-2 世帯人数	7
2-1-3 現在の住まい（問8）	8
2-1-4 現在の居住地域（問9）	8
2-1-5 震災発生当時の住居形態（問5）	9
2-1-6 現在の住居形態（問10）	9
2-2 調査結果	10
2-2-1 南相馬市への帰還意向（問18）	10
2-2-2 南相馬市への帰還時期（問20）	12
2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由（問21）	12
2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと （問23）	13
2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、 帰還しない理由（問22）	14
III 調査結果（全項目）	15
3-1 回答者の属性	17
3-1-1 性別	17
3-1-2 年齢	17
3-1-3 現在の職業（就業形態）	18
3-2 東日本大震災発生時の状況	19
3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区	19

3-2-2	震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域	20
3-2-3	震災発生当時の住居形態	20
3-2-4	震災発生当時の住居の状況	21
3-2-5	震災発生当時の住宅（土地）の今後の意向	21
3-3	現在の状況	22
3-3-1	現在の住まい	22
3-3-2	現在の居住地域	22
3-3-3	現在の住居形態	23
3-3-4	現在の住まいに居住している理由	24
3-3-5	現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先	25
3-3-6	現在の主な通院先	25
3-3-7	現在の買い物や通院のための主な交通手段	26
3-3-8	現在の住まいでの隣組への加入状況	26
3-3-9	現在参加している地域活動	27
3-3-10	現在のボランティア活動への参加意向	27
3-4	将来の意向	28
3-4-1	南相馬市への帰還意向	28
3-4-2	南相馬市での今後の定住先	33
3-4-3	南相馬市への帰還時期	34
3-4-4	南相馬市への帰還時期の理由	35
3-4-5	南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、 帰還しない理由	36
3-4-6	南相馬市への帰還を判断するために必要なこと	37
3-5	全世帯員の意向	38
3-5-1	世帯の代表者との続柄	38
3-5-2	世帯全員の性別	39
3-5-3	世帯全員の年齢	39
3-5-4	今後の住まいの意向	40
3-5-5	南相馬市への帰還時期	41
3-6	意見・要望	42
3-6-1	意見に係る記入内容の分類結果	43
3-6-2	生活について	44
3-6-3	震災発生前の居住地について	45
3-6-4	賠償について	46
3-6-5	帰還について	47
3-6-6	避難期間中及び将来の住宅について	48

3-6-7	除染について	49
3-6-8	復旧・復興について	50
3-6-9	原発の安全性について	52
3-6-10	原発事故に対する対応について	53
3-6-11	その他	54
IV	参考資料	55
4-1	使用調査票	57

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた南相馬市住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	南相馬市
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 4,021世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和4年9月20日（火）～令和4年10月4日（火）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、南相馬市
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 2,420世帯（有効回収率60.2%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和4年度について述べている。
（令和3年度の結果は、参考値として掲載）

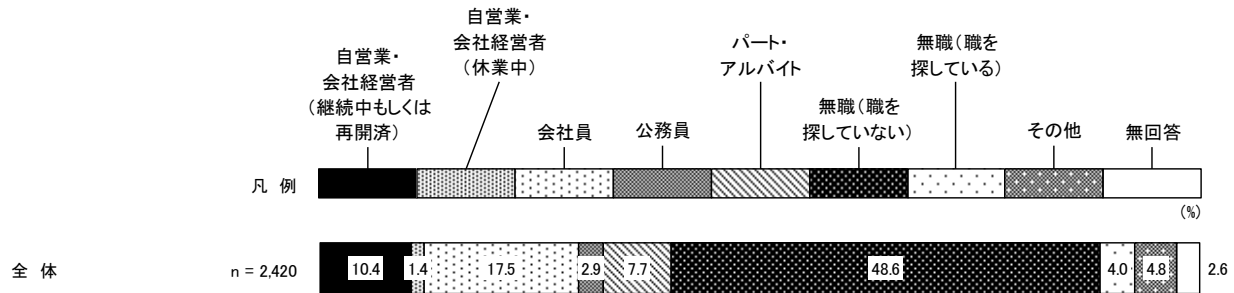
II 調査結果（主要項目）

2-1 回答者の属性・状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2）

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員」が17.5%と最も高く、次いで「自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）」が10.4%となっている。

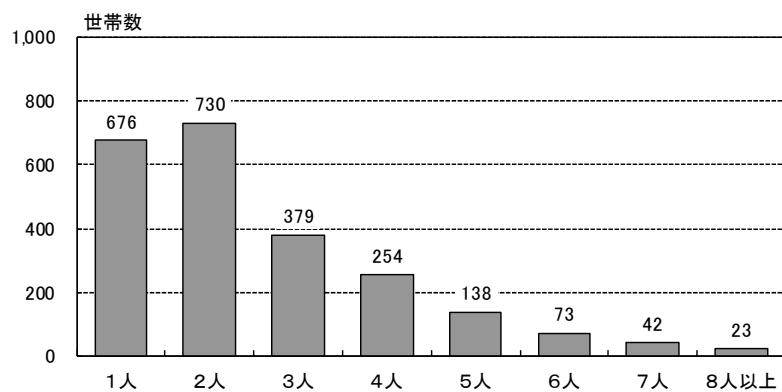
<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>



2-1-2 世帯人数

世帯人数については、「2人」が730世帯と最も多く、次いで「1人」が676世帯、「3人」が379世帯となっている。

<図表2-1-2 世帯人数>



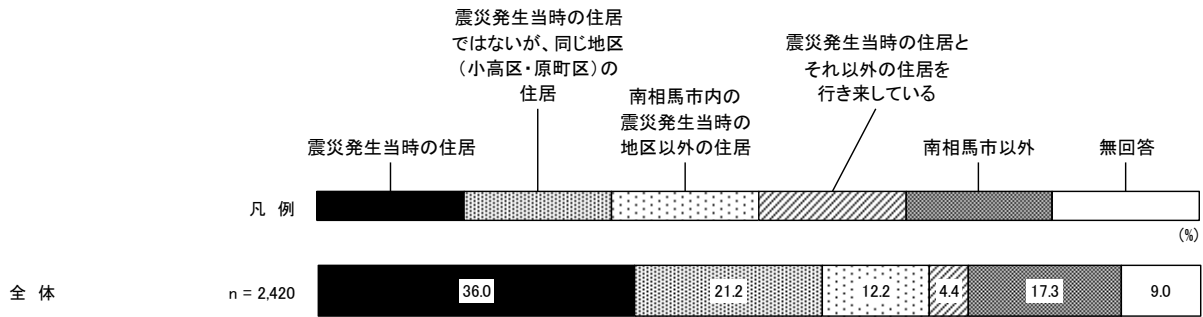
※震災当時、南相馬市に居住していた方のみ

※世帯人数は、「ご家族の現在の状況について」の回答結果より集計

2-1-3 現在の住まい（問8）

現在の住まいについては、「震災発生当時の住居」が36.0%と最も高く、次いで「震災発生当時の住居ではないが、同じ地区（小高区・原町区）の住居」が21.2%、「南相馬市以外」が17.3%となっている。

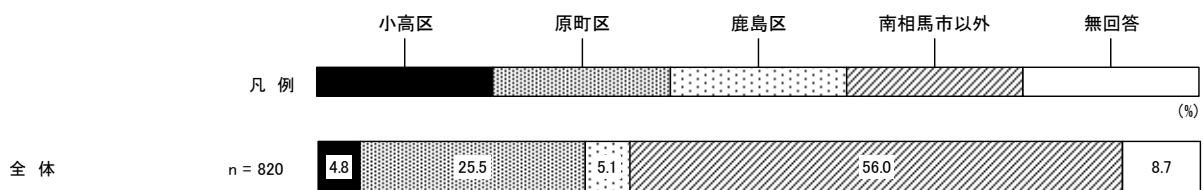
<図表2-1-3 現在の住まい>



2-1-4 現在の居住地域（問9）

現在の居住地域については、「南相馬市以外」が56.0%と最も高く、次いで「原町区」が25.5%、「鹿島区」が5.1%となっている。

<図表2-1-4 現在の居住地域>

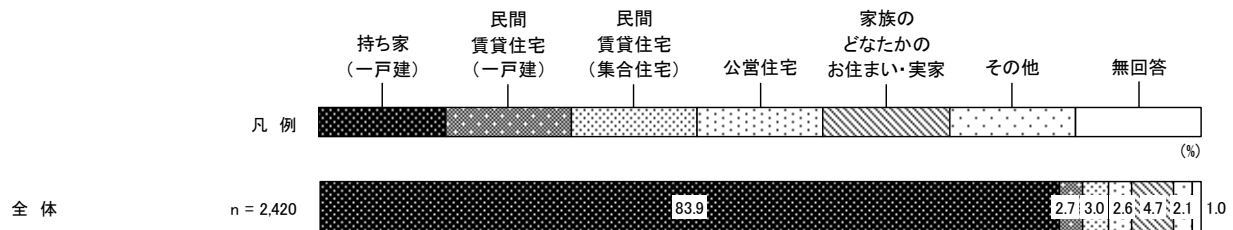


※問8で「南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「南相馬市以外」と回答した方のみ

2-1-5 震災発生当時の住居形態（問5）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が83.9%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が4.7%となっている。

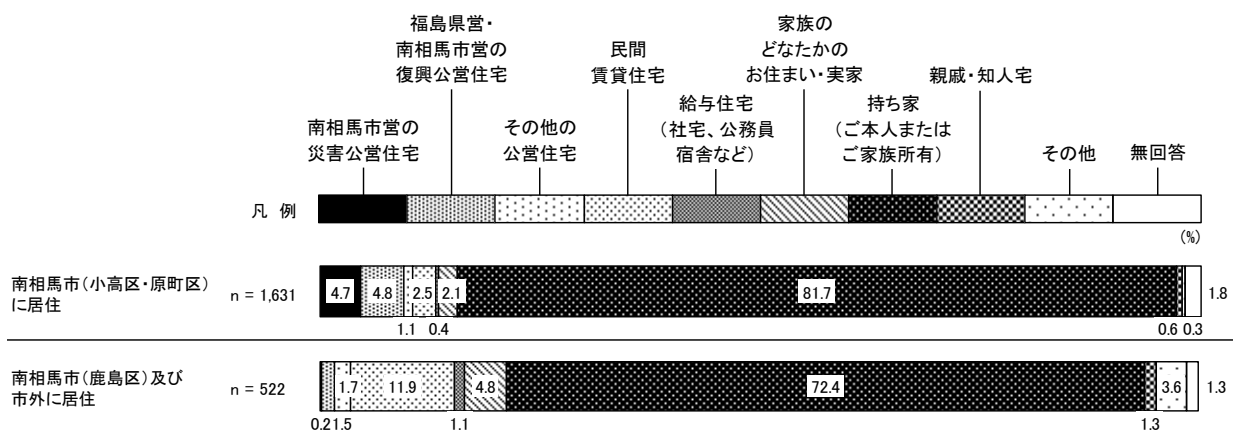
<図表2-1-5 震災発生当時の住居形態>



2-1-6 現在の住居形態（問10）

現在の住居形態について、南相馬市（小高区・原町区）の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が81.7%と最も高く、次いで「福島県営・南相馬市営の復興公営住宅」が4.8%となっている。
 南相馬市（鹿島区）及び市外の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が72.4%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が11.9%となっている。

<図表2-1-6 現在の住居形態>



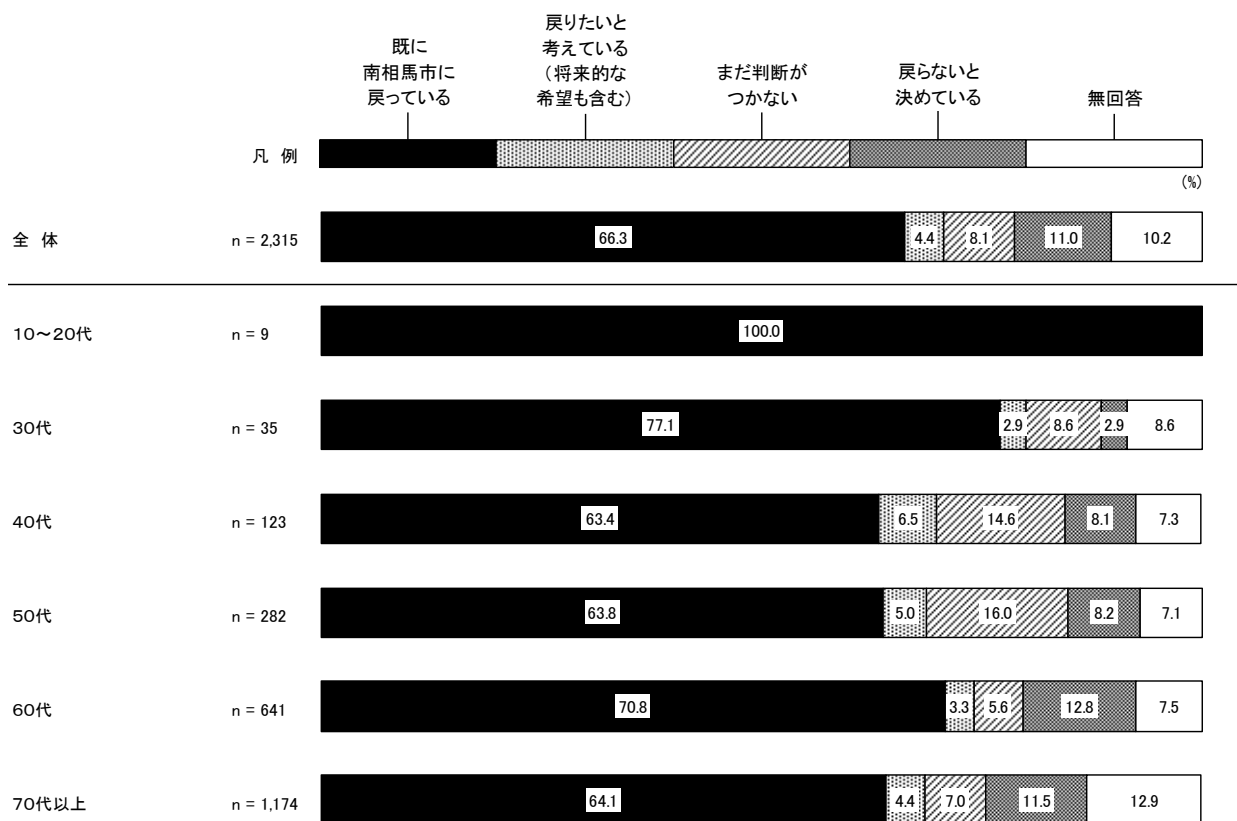
2-2 調査結果

2-2-1 南相馬市への帰還意向（問 18）

南相馬市への帰還意向については、「既に南相馬市に戻っている」が66.3%と最も高く、次いで「戻らないと決めている」が11.0%、「まだ判断がつかない」が8.1%、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が4.4%となっている。

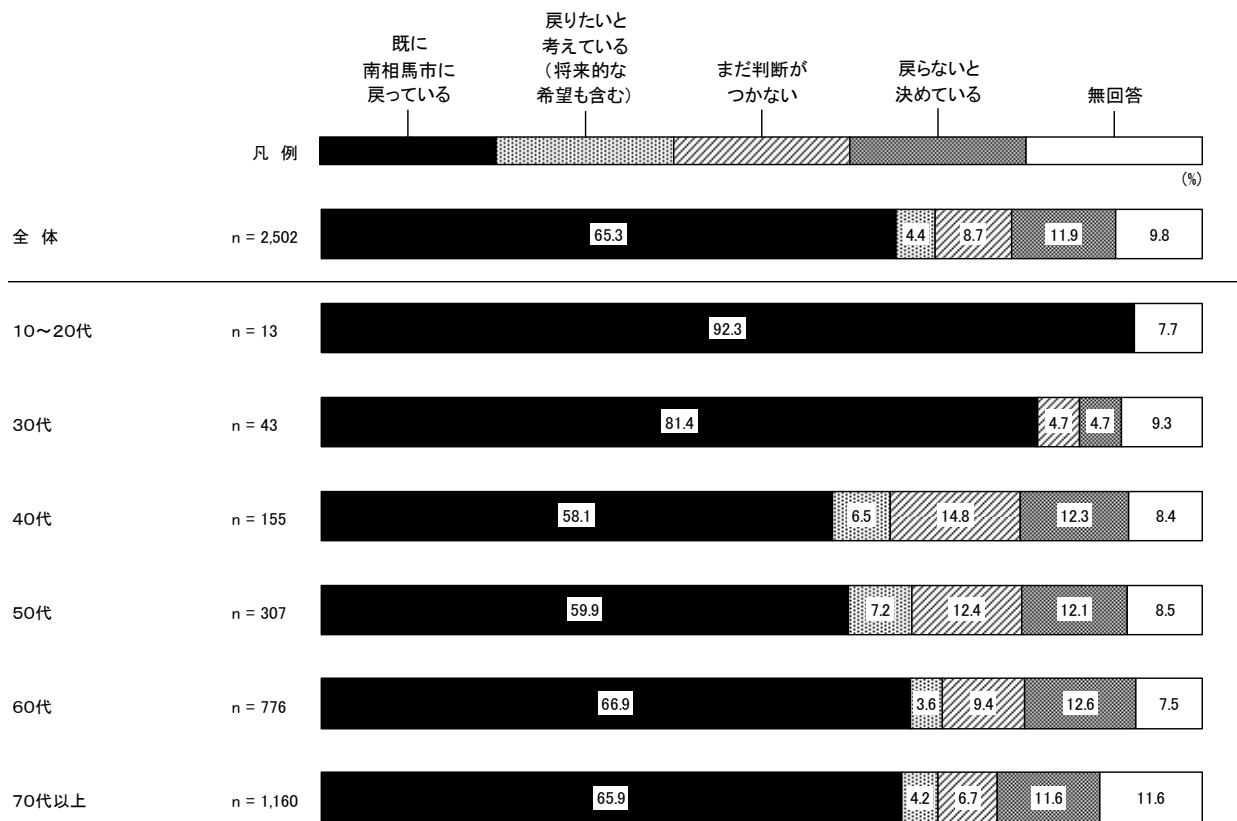
回答者の年齢別にみると、「まだ判断がつかない」は40～50代で、「戻らないと決めている」は60代以上で、それぞれ1割以上となっている。

<図表2-2-1-1 南相馬市への帰還意向：令和4年度（年齢別）>



※震災当時、南相馬市に居住していた方のみ

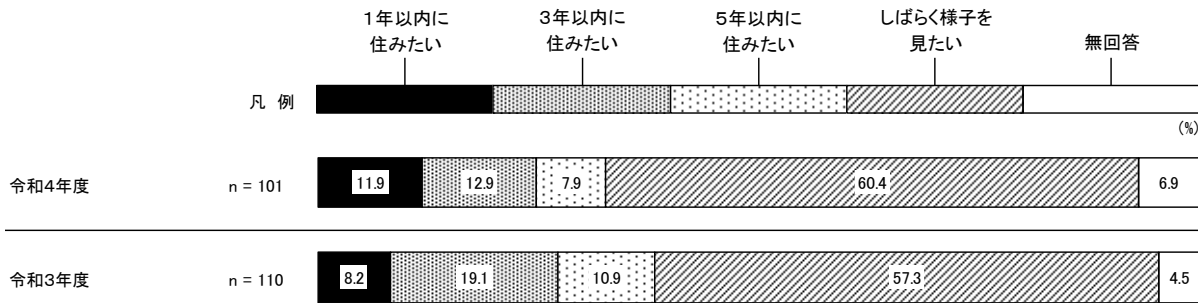
<図表2-2-1-2 南相馬市への帰還意向：令和3年度（年齢別）>



2-2-2 南相馬市への帰還時期（問 20）

南相馬市への帰還時期については、「しばらく様子を見たい」が60.4%と最も高く、次いで「3年以内に住みたい」が12.9%、「1年以内に住みたい」が11.9%となっている。

<図表2-2-2 南相馬市への帰還時期>

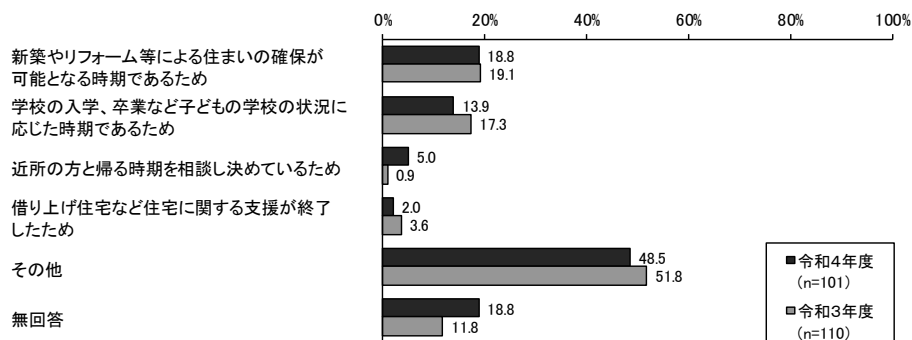


※問 18 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※世帯の代表者の意向

2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由（問 21）

南相馬市への帰還時期の理由については、「新築やリフォーム等による住まいの確保が可能となる時期であるため」が18.8%と最も高く、次いで「学校の入学、卒業など子どもの学校の状況に応じた時期であるため」が13.9%、「近所の方と帰る時期を相談し決めているため」が5.0%となっている。

<図表2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由>

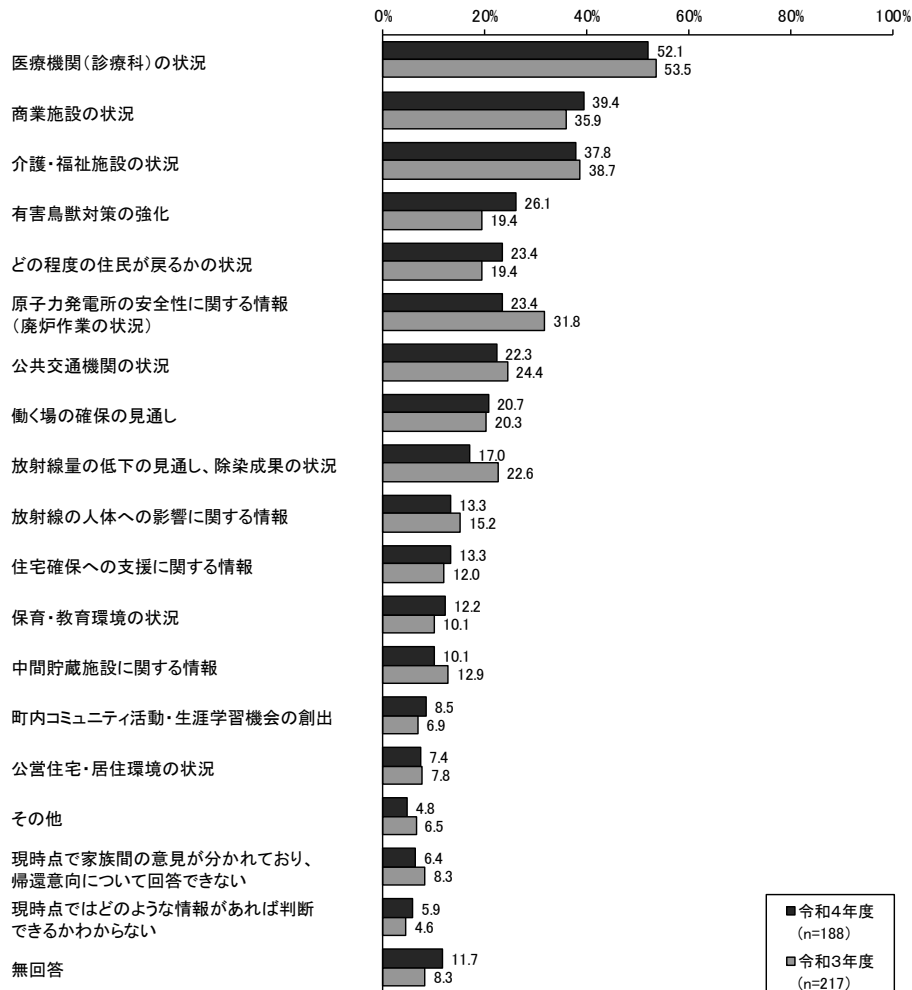


※問 18 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと（問23）

南相馬市への帰還を判断するために必要なことについては、「医療機関（診療科）の状況」が52.1%と最も高く、次いで「商業施設の状況」が39.4%、「介護・福祉施設の状況」が37.8%となっている。

<図表2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと>



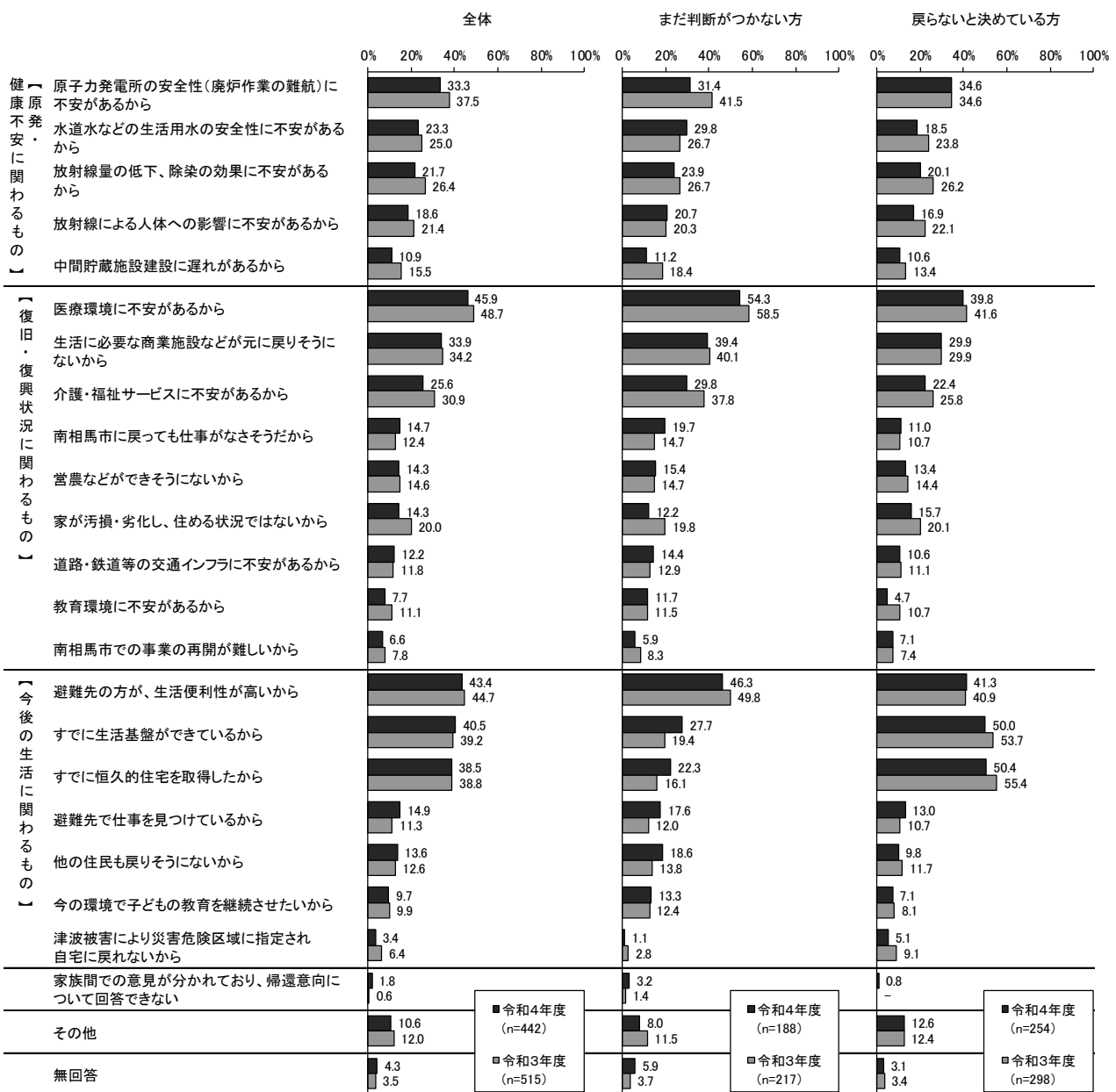
※問18で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（問 22）

南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由は、全体では「医療環境に不安があるから」が45.9%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活便利が高いから」が43.4%、「すでに生活基盤ができてきているから」が40.5%となっている。

帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方では「医療環境に不安があるから」が54.3%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が46.3%と高くなっている。一方、戻らないと決めている方では「すでに恒久的住宅を取得したから」が50.4%、「すでに生活基盤ができてきているから」が50.0%と高くなっている。

<図表2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（帰還意向別）>



※問 18 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

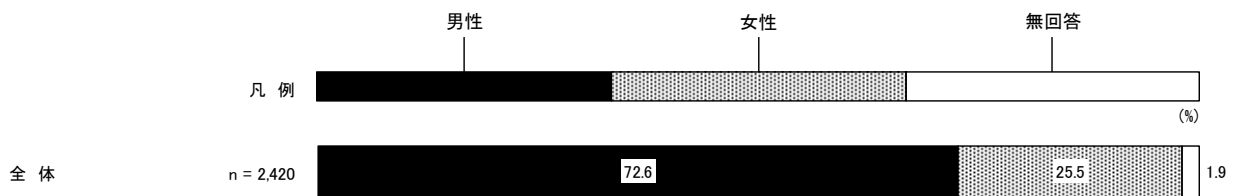
Ⅲ 調査結果（全項目）

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの性別、年齢について教えてください。（性別）

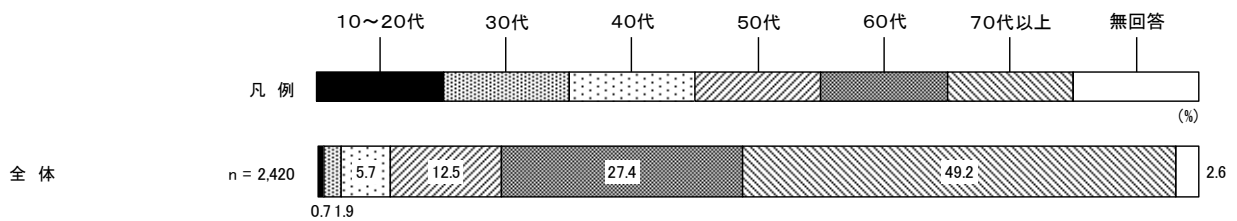
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 あなたの性別、年齢について教えてください。（年齢）

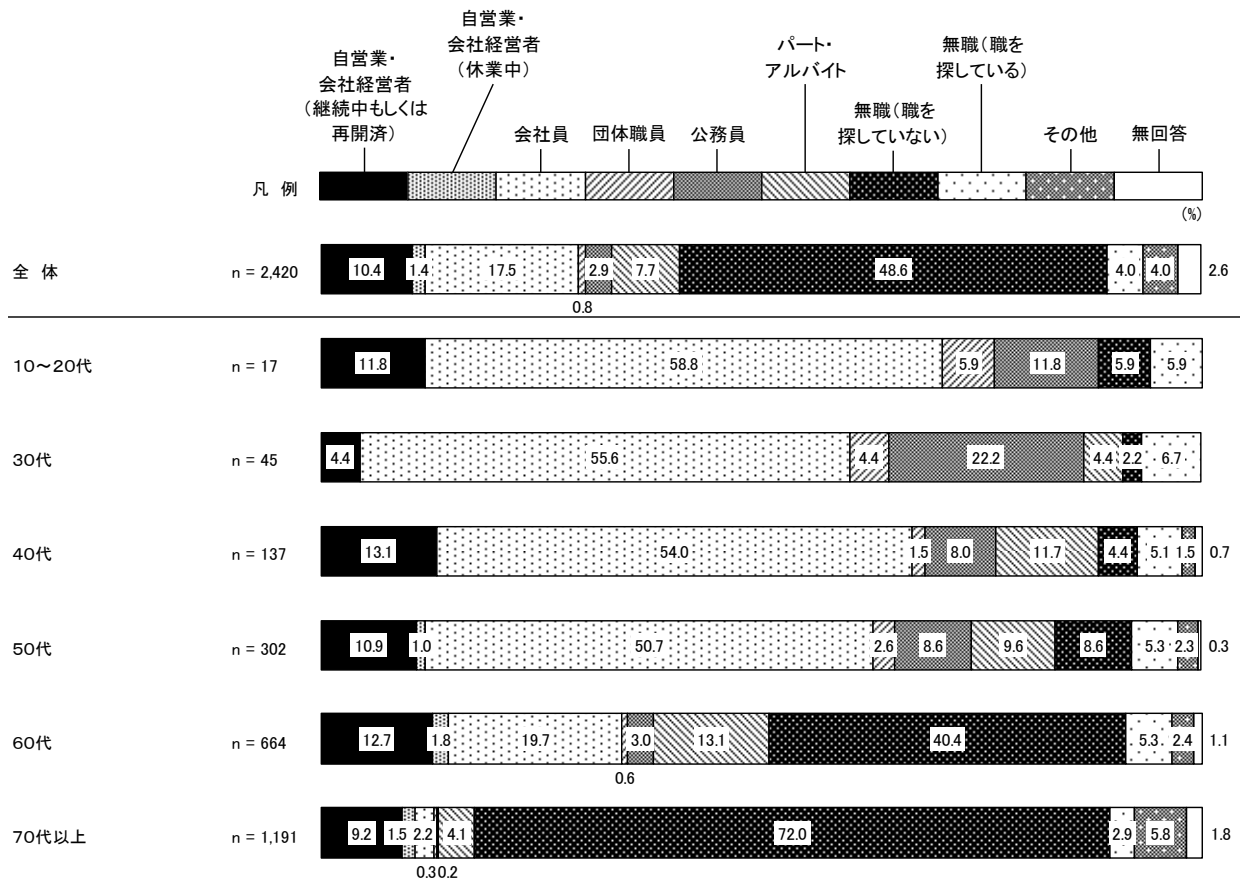
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>

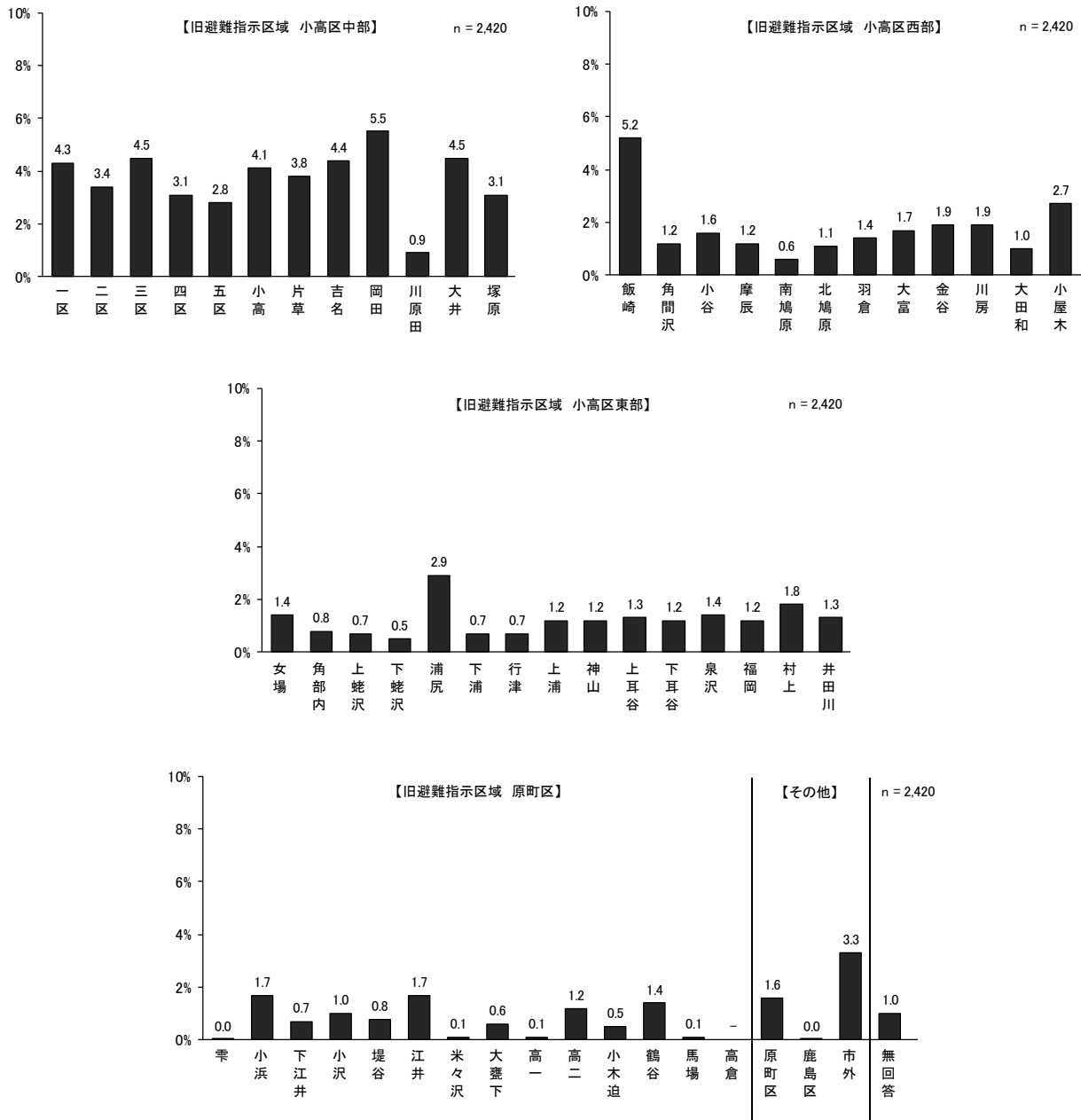


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった居住地を教えてください。（○は1つ）

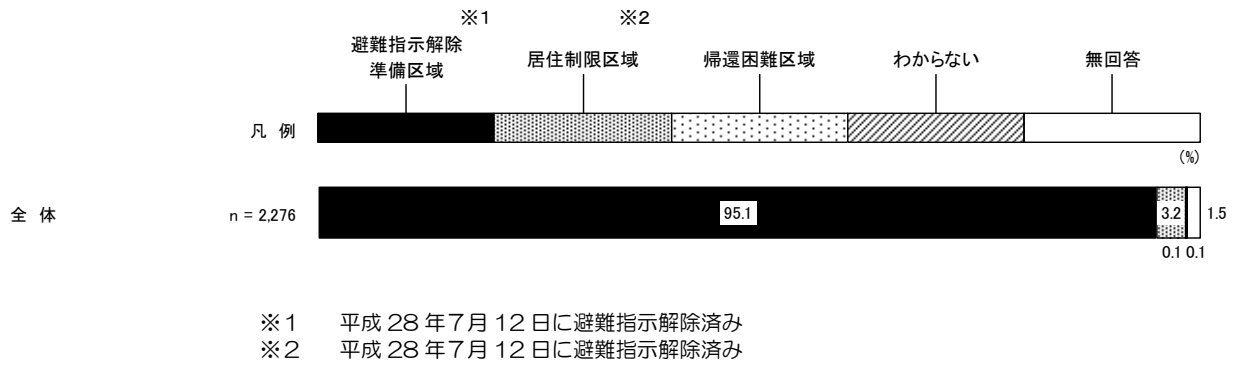
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域

【問3で「54. 原町区」「55. 鹿島区」「56. 市外」以外を回答した方に伺います。】
 問4 震災発生当時のお住まいが、平成24年度の避難指示区域見直し時点において、以下の各区域のどこに該当していたかを教えてください。（〇は1つ）

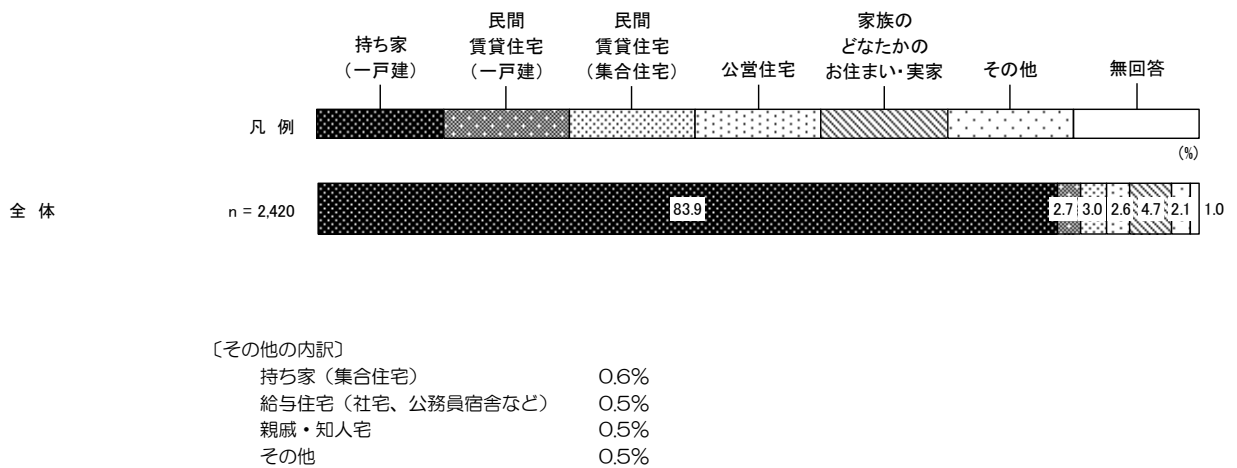
<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域>



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅形態を教えてください。（〇は1つ）

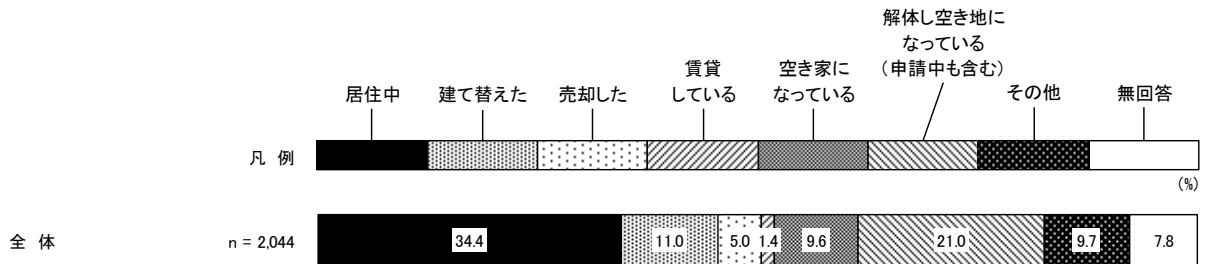
<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



3-2-4 震災発生当時の住居の状況

【問5で「1. 持ち家（一戸建）」「2. 持ち家（集合住宅）」と回答した方に伺います。】
 問6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況か教えてください。（〇は1つ）

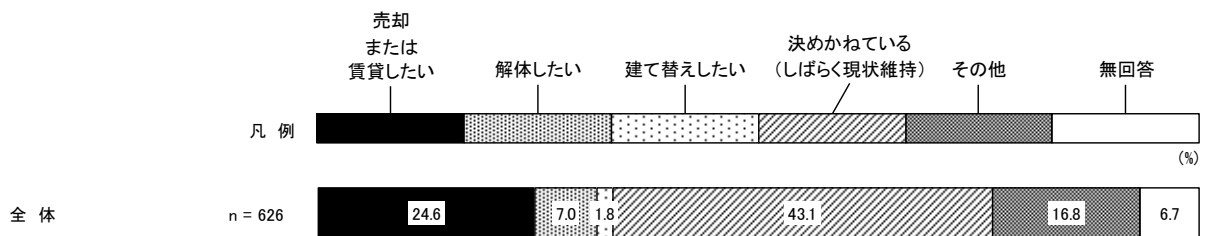
＜図表3-2-4 震災発生当時の住居の状況＞



3-2-5 震災発生当時の住宅（土地）の今後の意向

【問6で「5. 空き家になっている」「6. 解体し空き地になっている (申請中も含む)」と回答した方に伺います。】
 問7 震災発生当時にお住まいだった住宅（土地）を、今後どのように利用したいか教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-2-5 震災発生当時の住宅（土地）の今後の意向＞

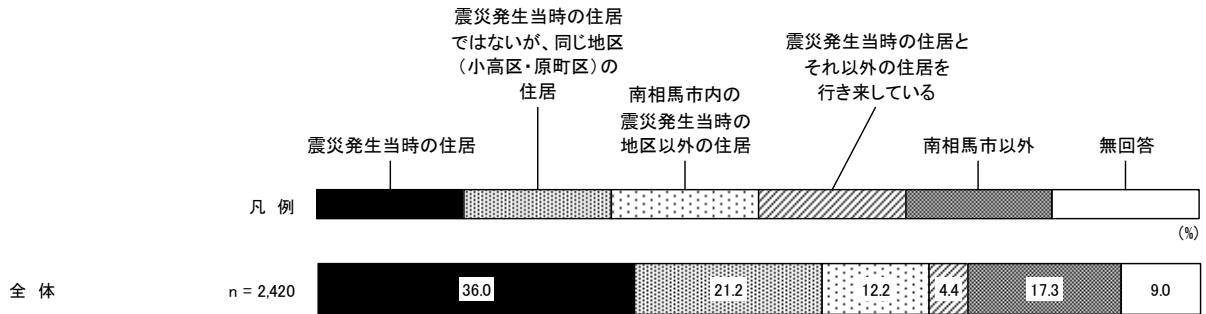


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の住まい

問8 現在、あなたはどちらにお住まいですか。（〇は1つ）

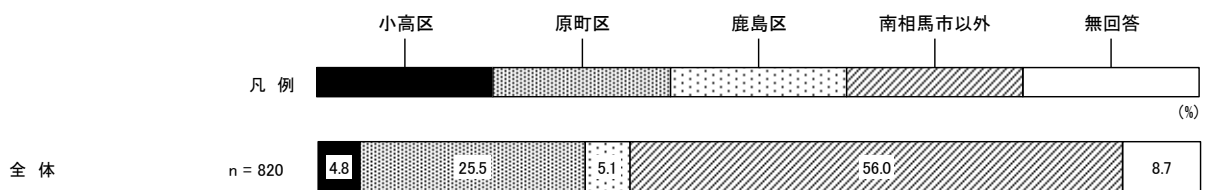
<図表3-3-1 現在の住まい>



3-3-2 現在の居住地

【問8で「3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「5. 南相馬市以外」と回答した方に伺います。】
 問9 現在、あなたが住まいの場所を教えてください。（〇は1つ）
 ※「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方は、震災発生当時の住居でない方のお住まいの場所についてお答え下さい。

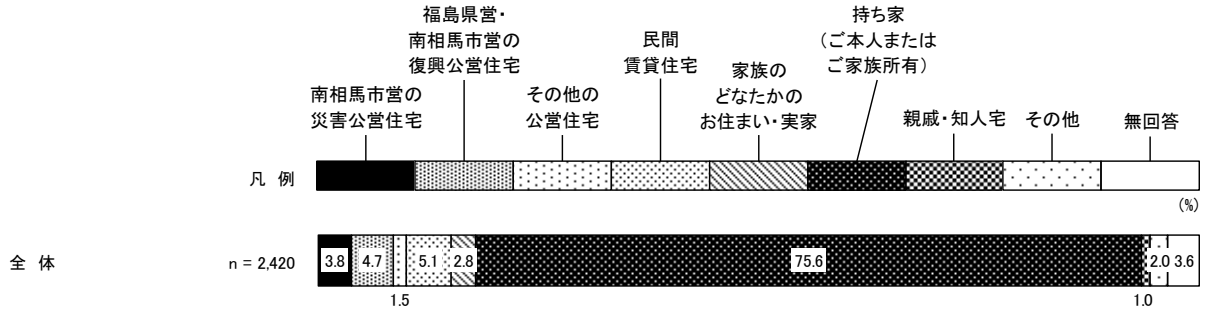
<図表3-3-2 現在の居住地>



3-3-3 現在の住居形態

問 10 現在、あなたがお住まいになっている住宅の形態を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-3 現在の住居形態>



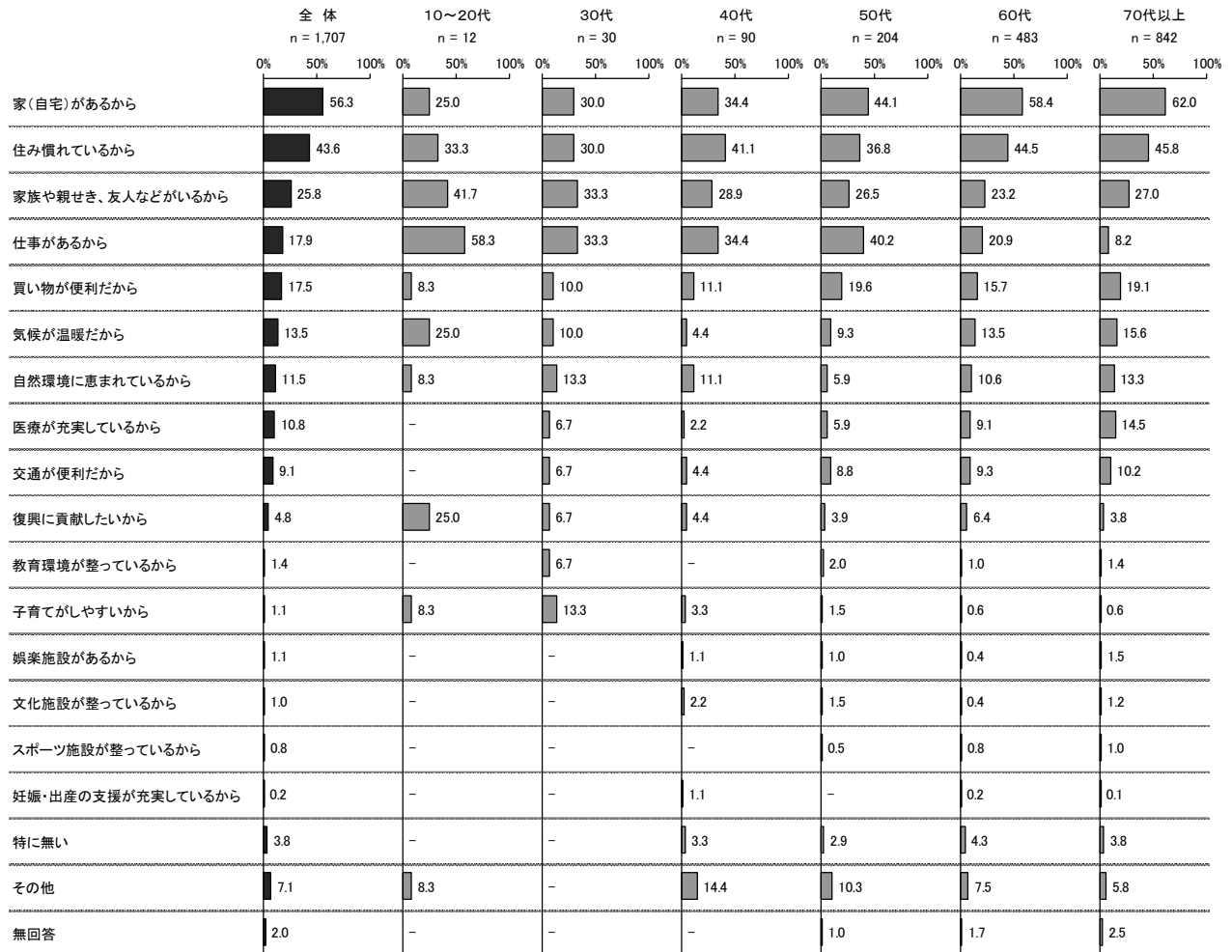
〔その他の内訳〕

給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.9%
その他	1.1%

3-3-4 現在の住まいに居住している理由

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】
 問 11 現在の場所にお住まいの理由を教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-3-4 現在の住まいに居住している理由（年齢別）>

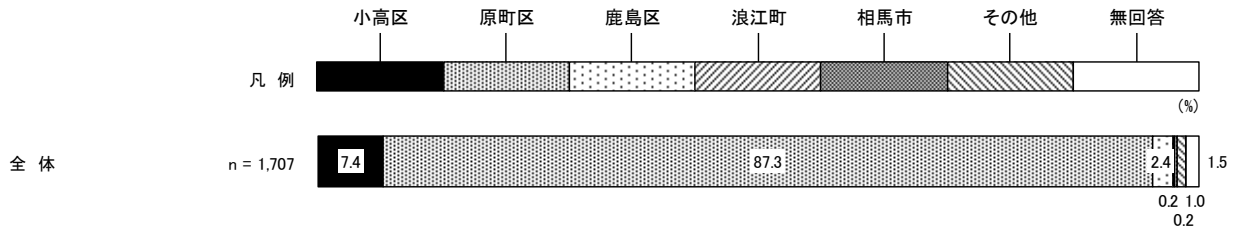


3-3-5 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 12 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-5 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先>

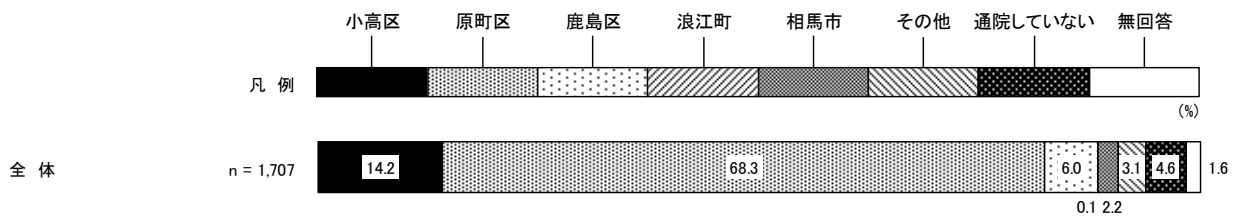


3-3-6 現在の主な通院先

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 13 現在の主な通院先を教えてください。（〇は1つ）

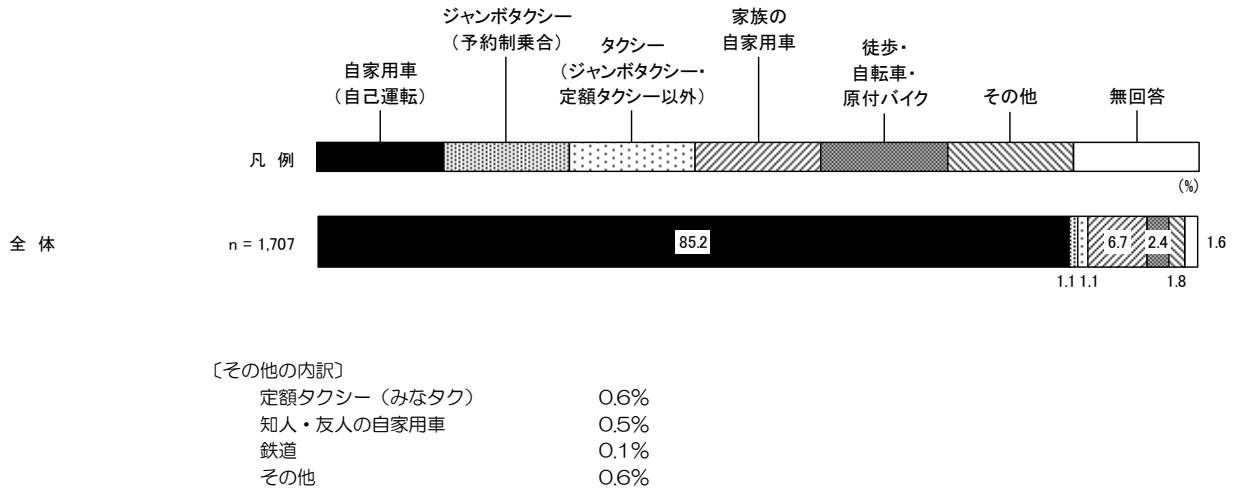
<図表3-3-6 現在の主な通院先>



3-3-7 現在の買い物や通院のための主な交通手段

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】
 問 14 現在の買い物や通院のための主な交通手段を教えてください。（〇は1つ）

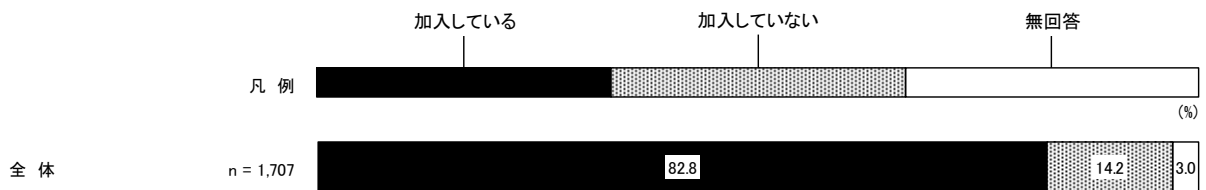
<図表3-3-7 現在の買い物や通院のための主な交通手段>



3-3-8 現在の住まいでの隣組への加入状況

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】
 問 15 現在お住まいの場所での隣組への加入状況を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-8 現在の住まいでの隣組への加入状況>

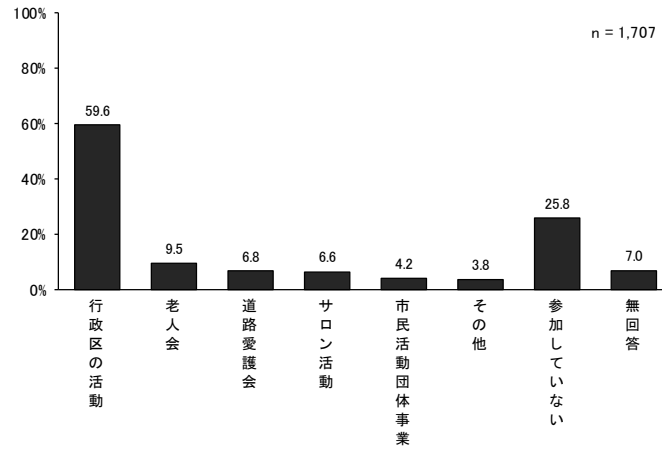


3-3-9 現在参加している地域活動

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 16 現在、地域活動に参加している場合、該当するものを教えてください。（〇はいくつでも）

＜図表3-3-9 現在参加している地域活動＞

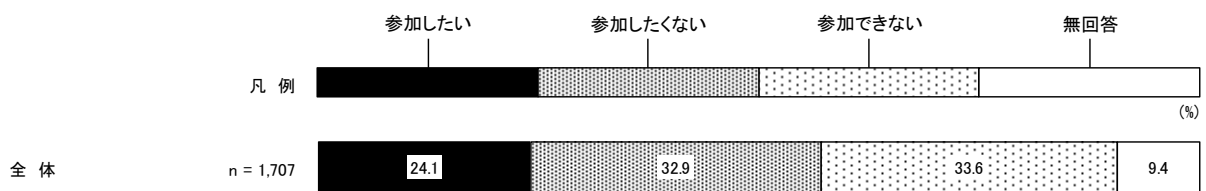


3-3-10 現在のボランティア活動への参加意向

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 17 現在のボランティア活動への参加の意向を教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-3-10 現在のボランティア活動への参加意向＞

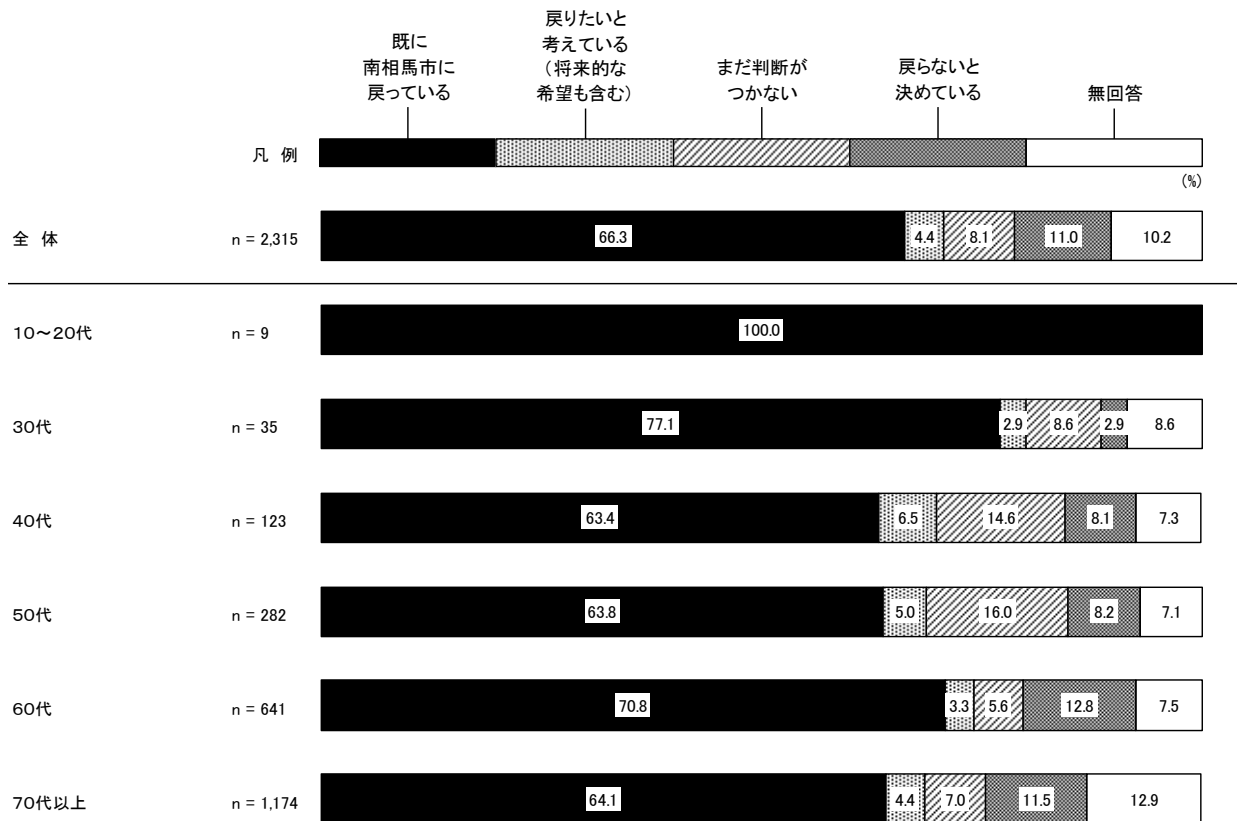


3-4 将来の意向

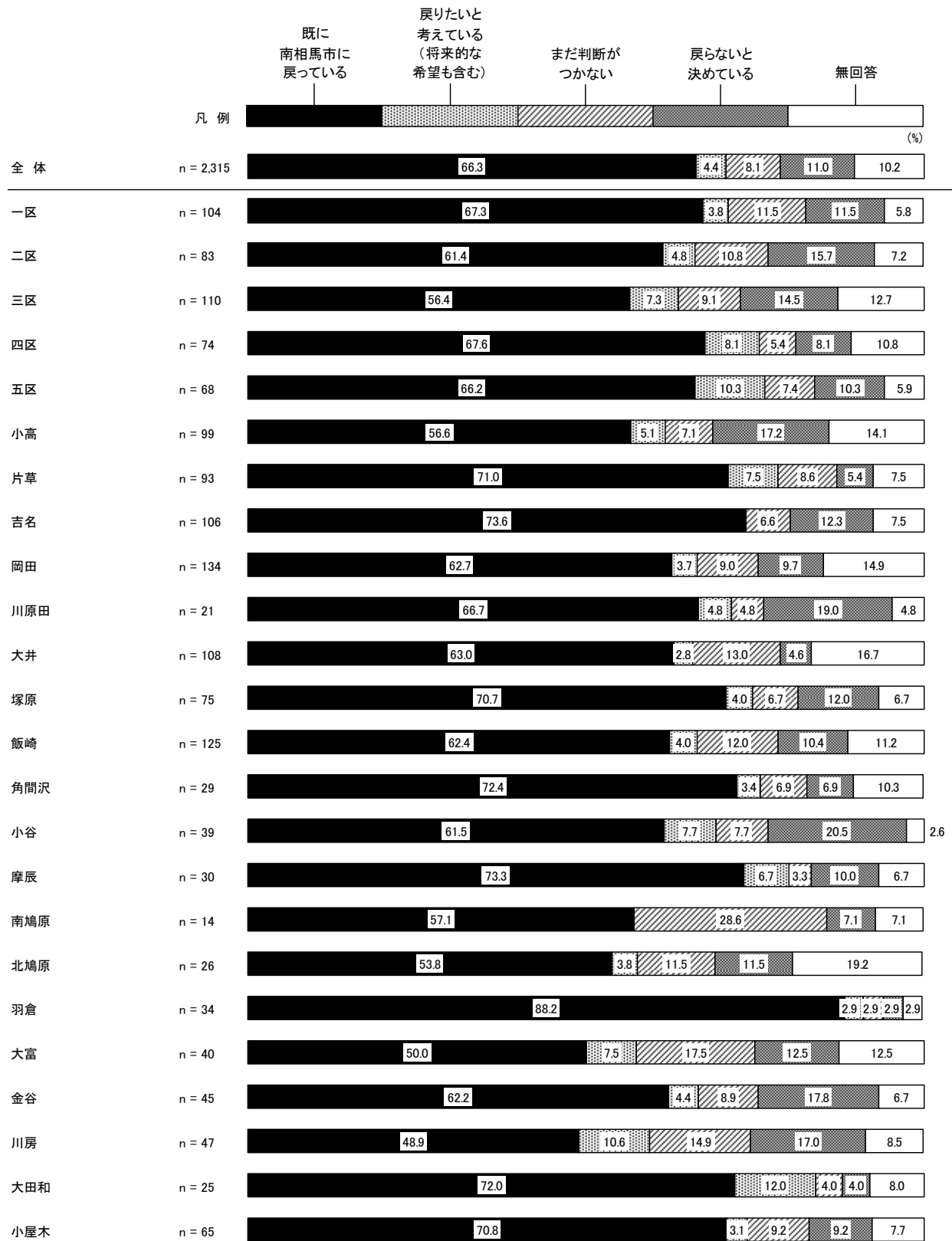
3-4-1 南相馬市への帰還意向

【震災当時、南相馬市内にお住まいだった方に伺います。】
 問 18 南相馬市への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

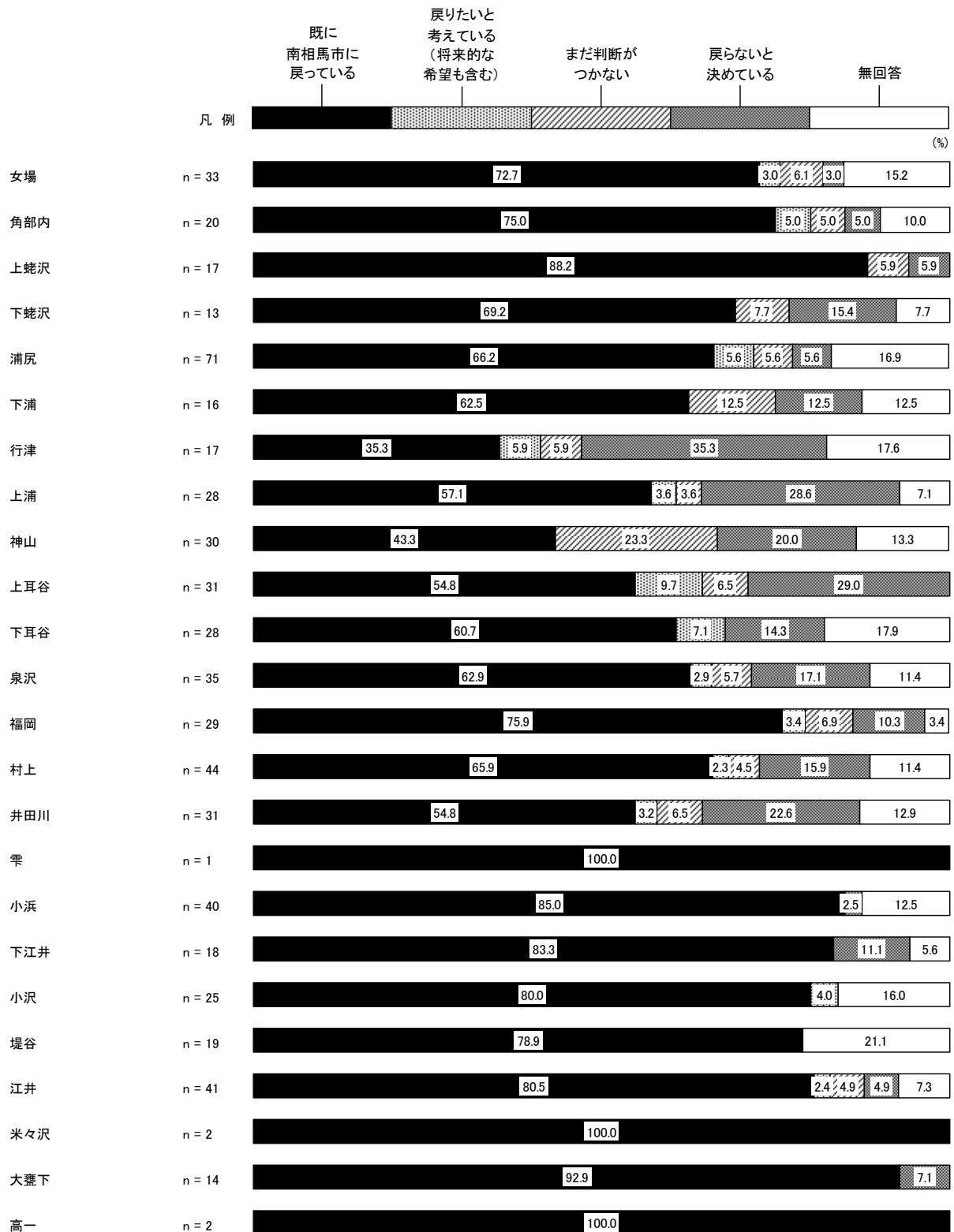
<図表3-4-1-1 南相馬市への帰還意向（年齢別）>



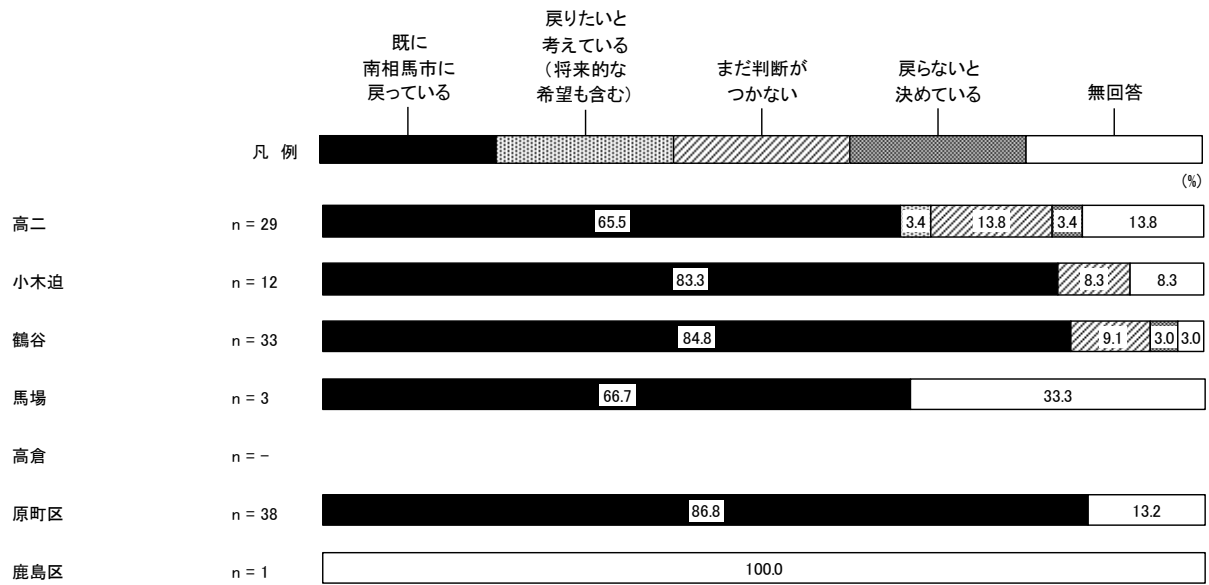
<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別） 続き>

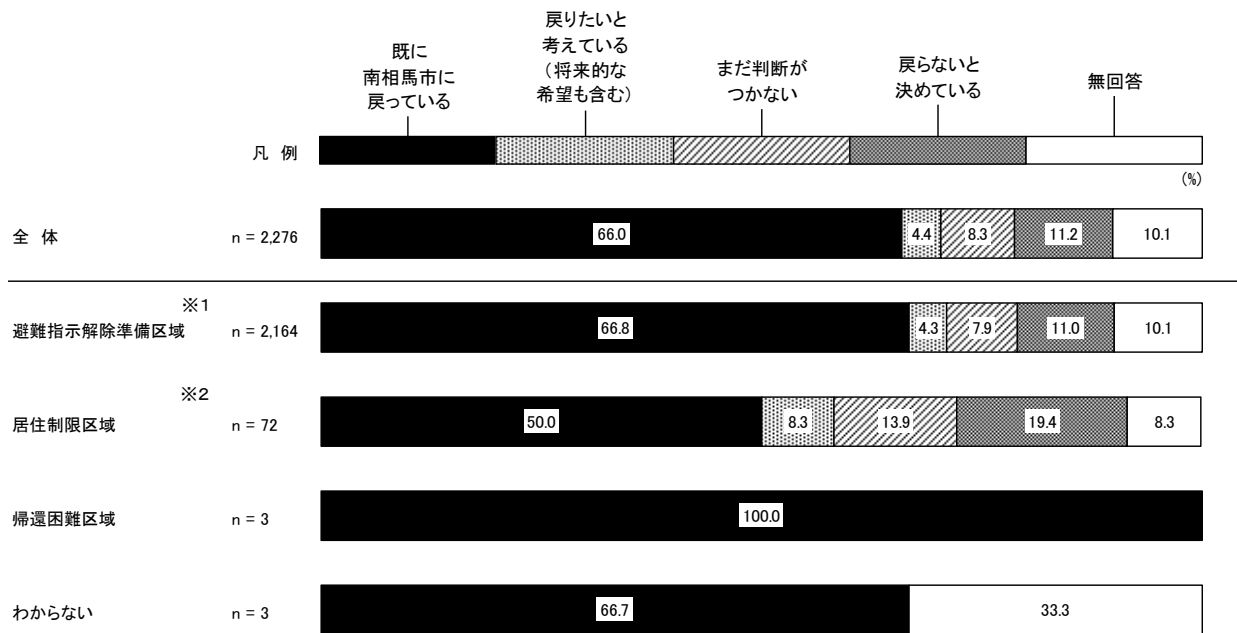


<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別） 続き>



III 調査結果（全項目）

<図表3-4-1-3 南相馬市への帰還意向（避難指示区域別）>



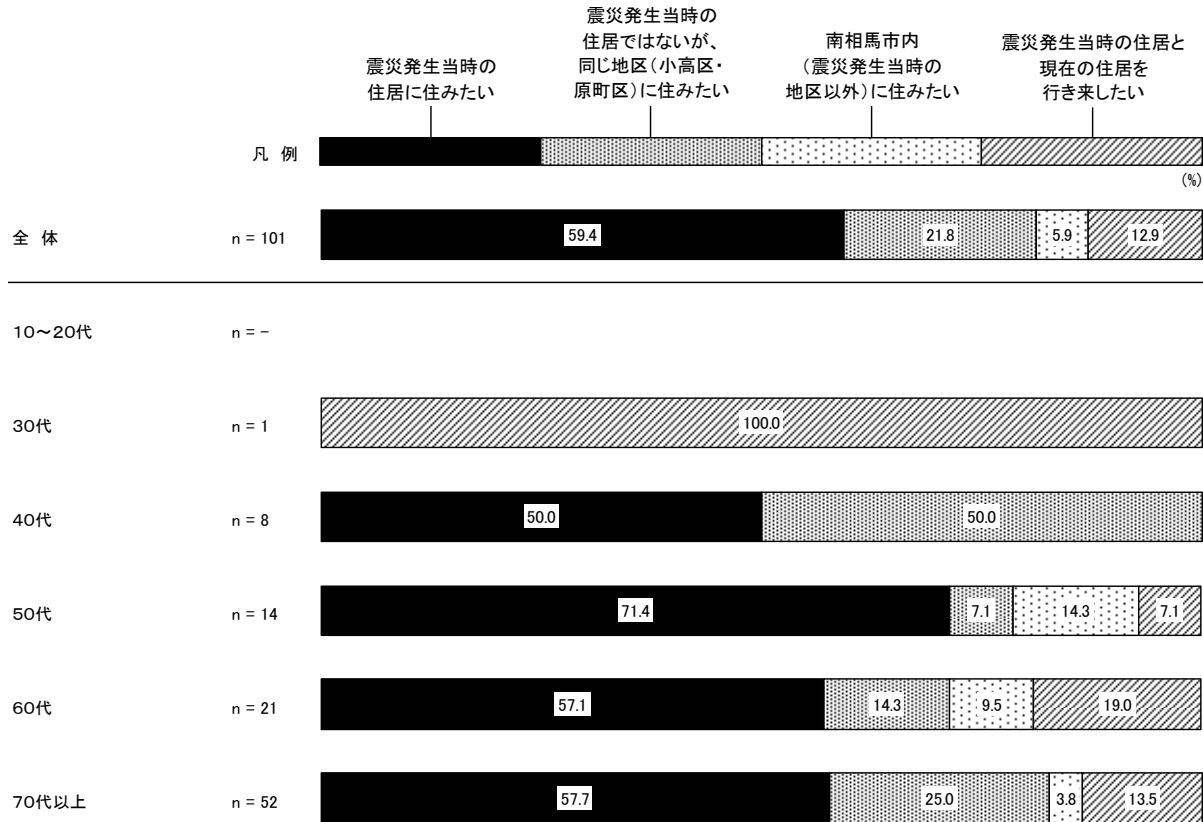
※1 平成28年7月12日に避難指示解除済み

※2 平成28年7月12日に避難指示解除済み

3-4-2 南相馬市での今後の定住先

【問 18 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 19 南相馬市への今後の定住先について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

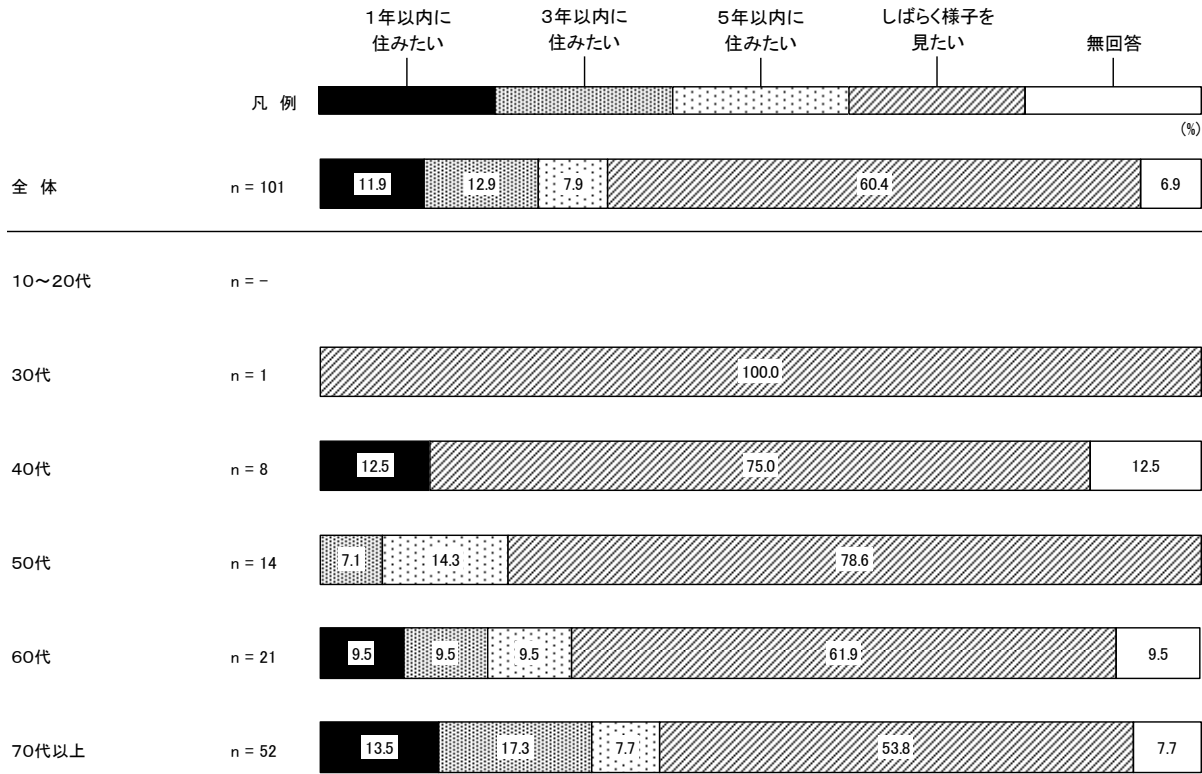
<図表3-4-2 南相馬市での今後の定住先（年齢別）>



3-4-3 南相馬市への帰還時期

【問 18 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 20 現時点での住みたい時期についてお聞かせください。（○は1つ）

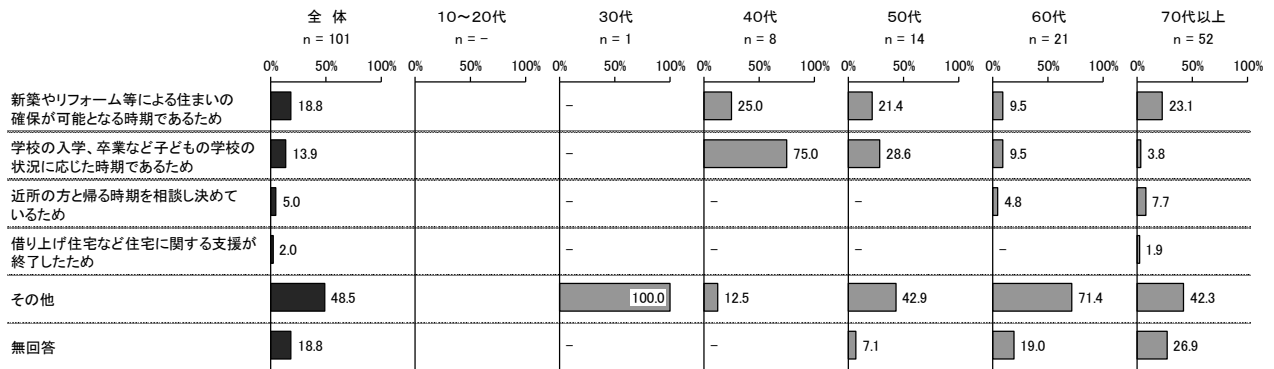
<図表3-4-3 南相馬市への帰還時期（年齢別）>



3-4-4 南相馬市への帰還時期の理由

【問 18 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
問 21 「住みたい時期」の理由についてお聞かせください。（〇はいくつでも）

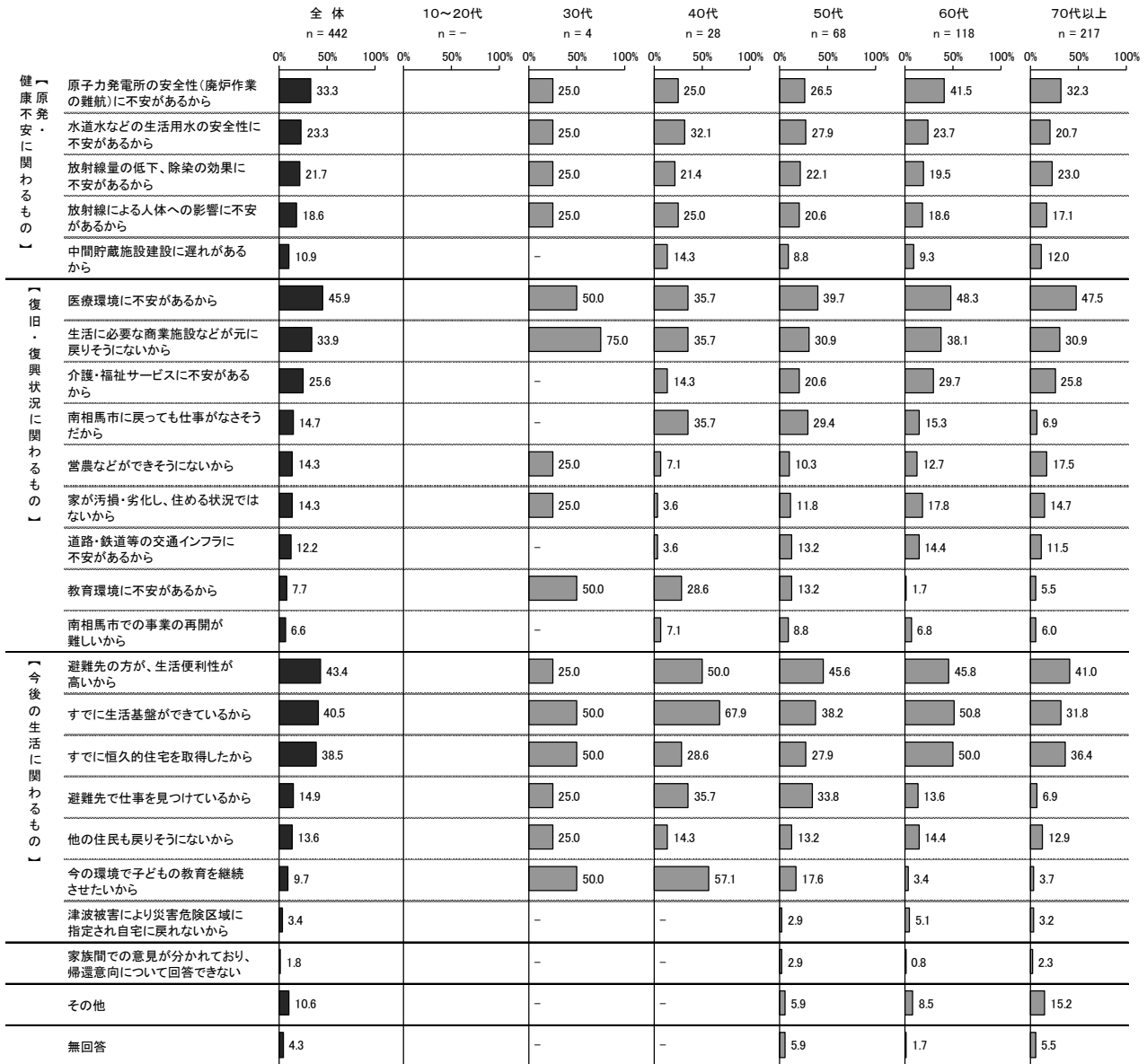
<図表3-4-4 南相馬市への帰還時期の理由（年齢別）>



3-4-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由

【問 18 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
 問 22 南相馬市への帰還について、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由を教えてください。
 （〇はいくつでも）

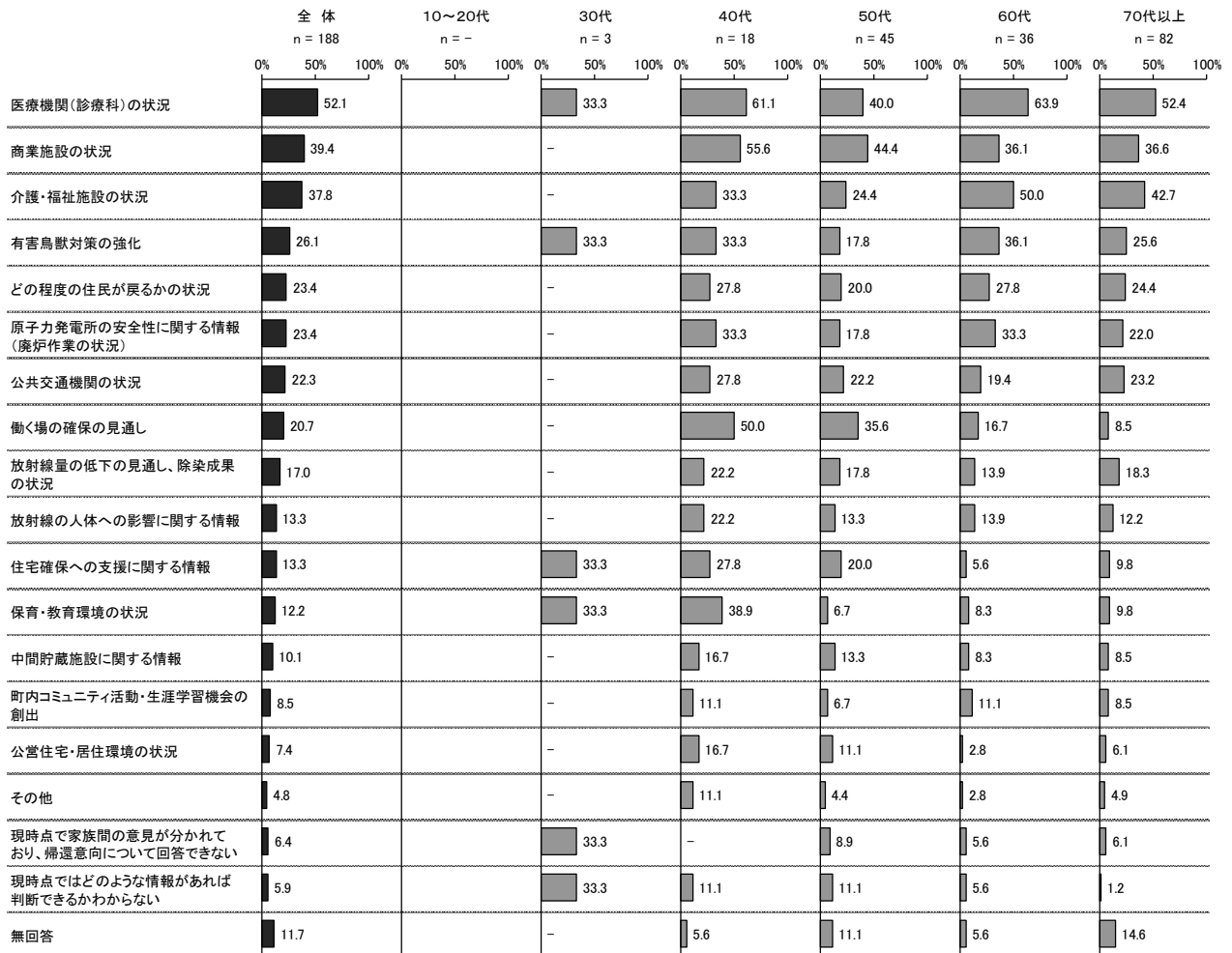
<図表3-4-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（年齢別）>



3-4-6 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと

【問 18 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】
 問 23 南相馬市へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-6 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>

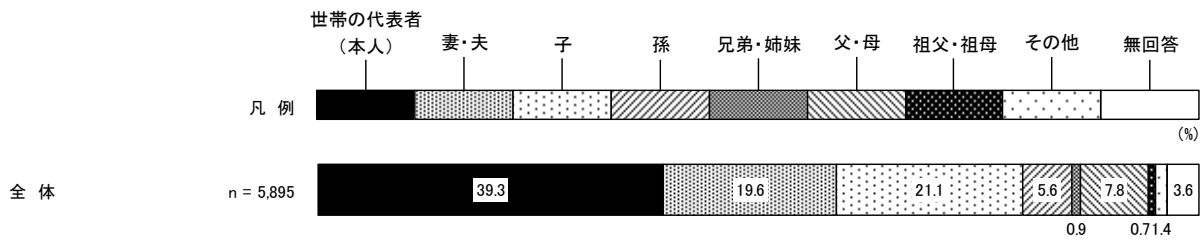


3-5 全世帯員の意向

3-5-1 世帯の代表者との続柄

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（表1 世帯の代表者との続柄）

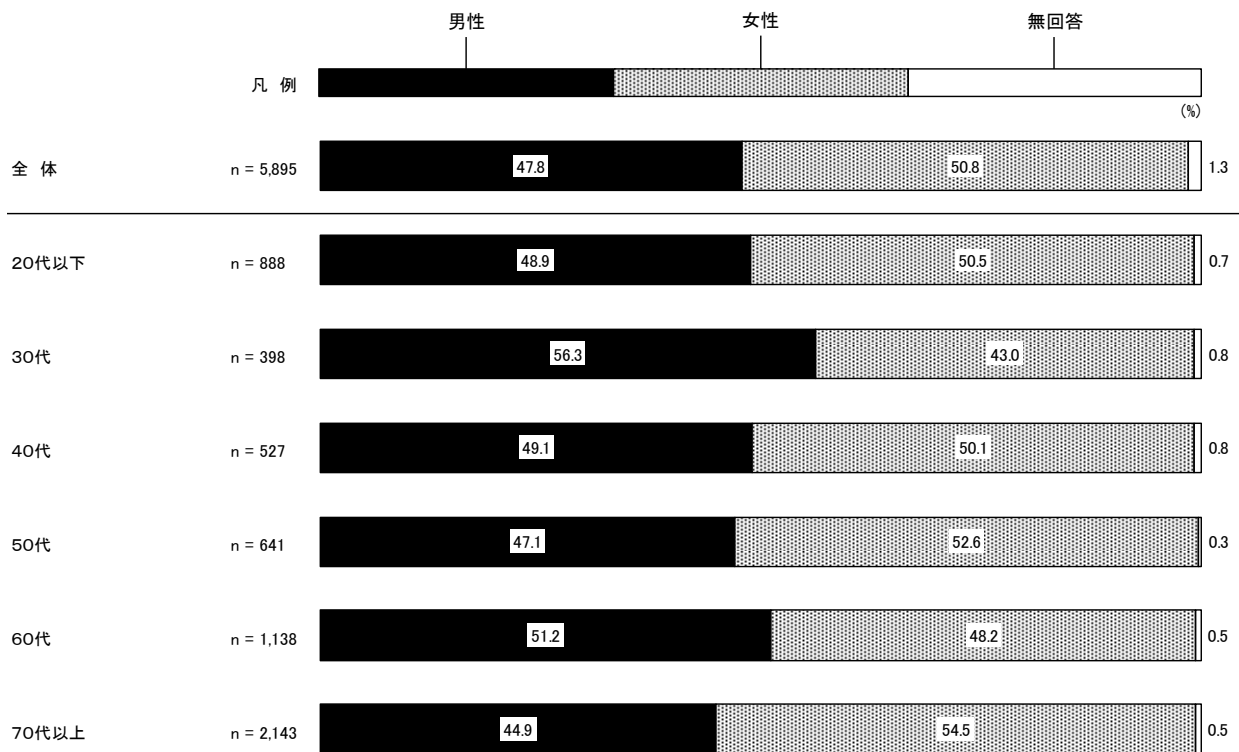
<図表3-5-1 世帯の代表者との続柄>



3-5-2 世帯全員の性別

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（性別）

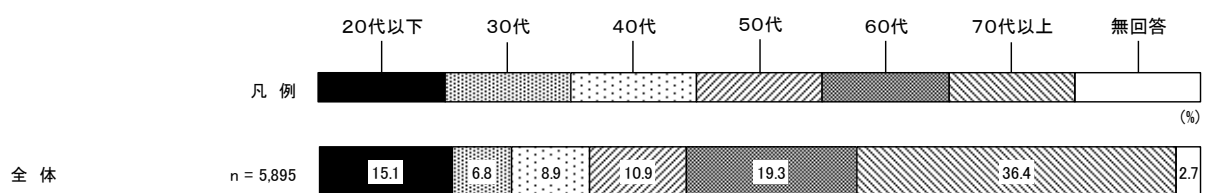
<図表3-5-2 世帯全員の性別（世帯全員の年齢別）>



3-5-3 世帯全員の年齢

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（年齢）

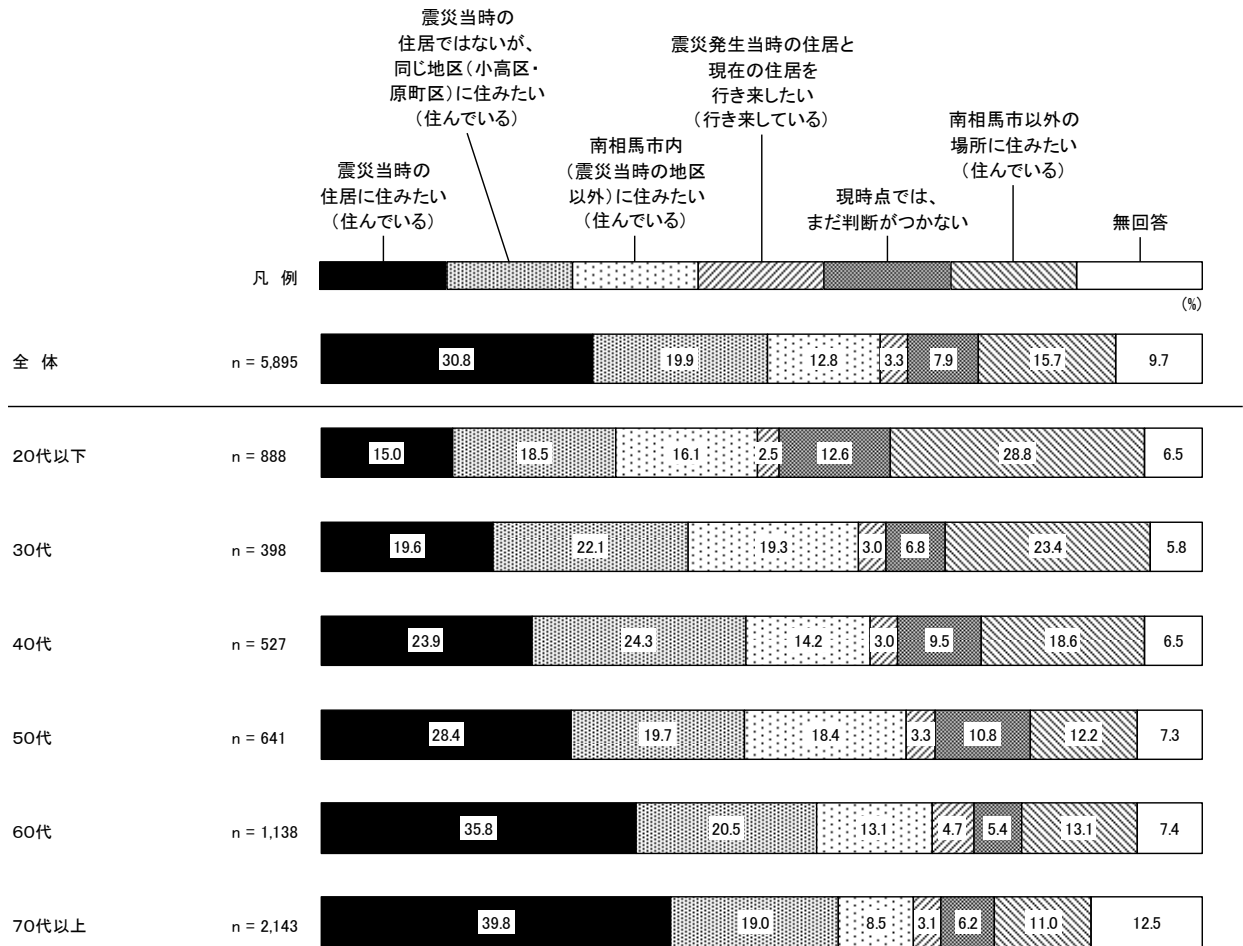
<図表3-5-3 世帯全員の年齢>



3-5-4 今後の住まいの意向

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（表2 今後の住まいの意向）

<図表3-5-4 今後の住まいの意向（世帯全員の年齢別）>



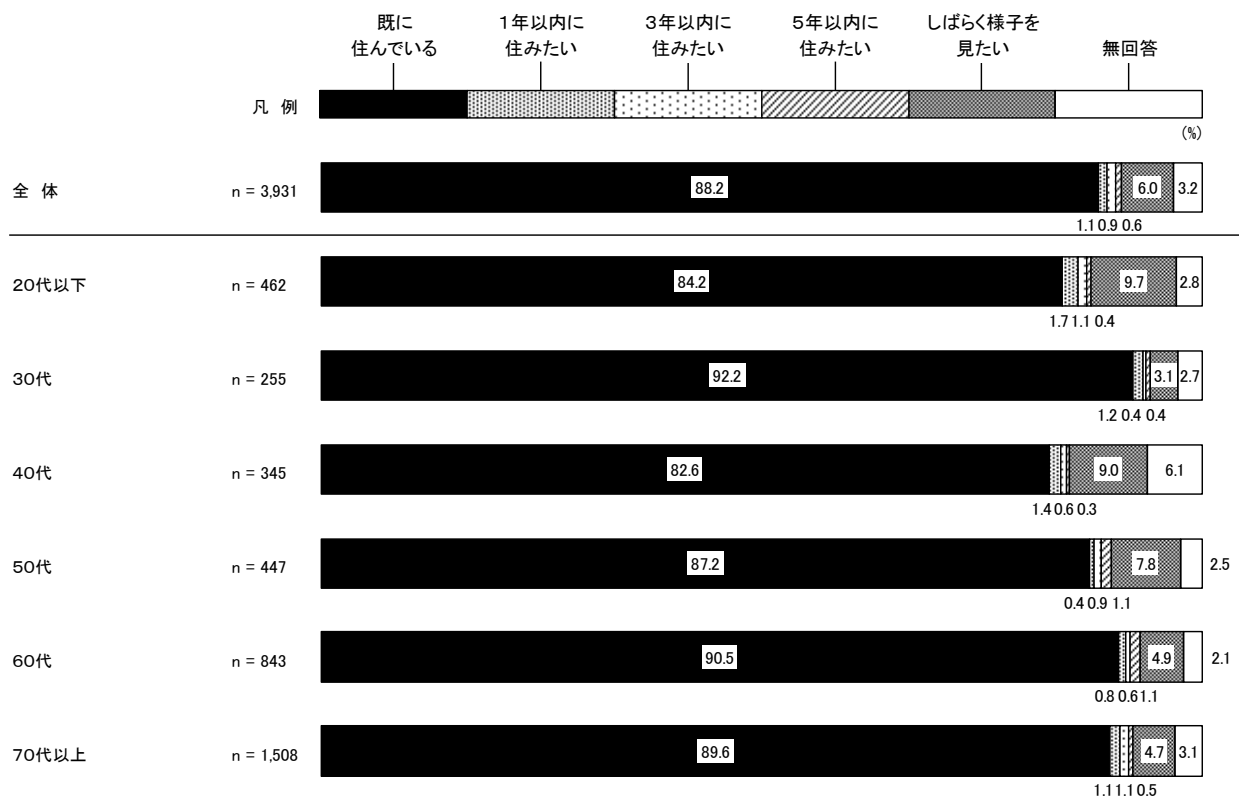
3-5-5 南相馬市への帰還時期

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族一人ごとにご記入ください。（表3 南相馬市に住みたい時期 ※表2で1～4を選んだ方のみ回答）

- *表2： 1. 震災当時の住居に住みたい（住んでいる）
 2. 震災当時の住まいではないが、同じ地区（小高区・原町区）に住みたい（住んでいる）
 3. 南相馬市内（震災当時の地区以外）に住みたい（住んでいる）
 4. 震災発生当時の住居と現在の住居を行き来したい（行き来している）

<図表3-5-5 南相馬市への帰還時期（世帯全員の年齢別）>



3-6 意見・要望

問 24 市の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望、国、県、市への要望などをご自由にお書き下さい。

国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどについて、997 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

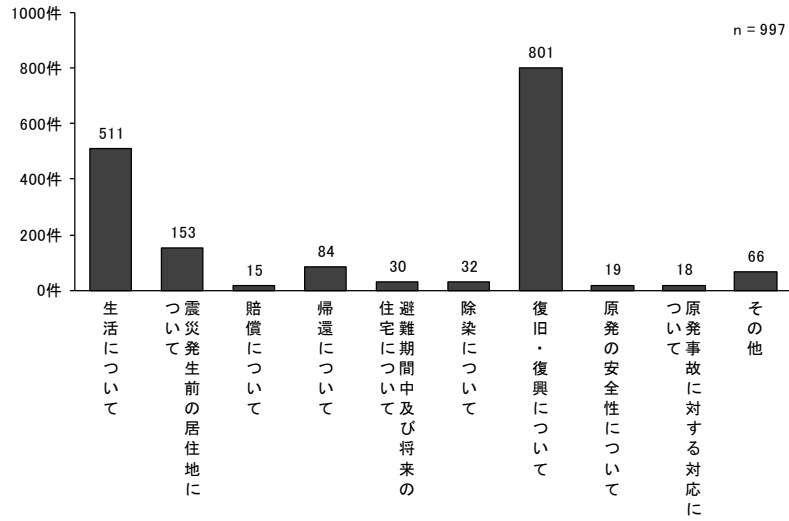
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることについてのあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意識について ・除染作業の効果等について ・除染作業の実施箇所等について ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染産廃物の処理について ・その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地等の管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・市町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について ・その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅への入居について ・居住場所の確保について ・住宅の購入について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のエネルギー政策について ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

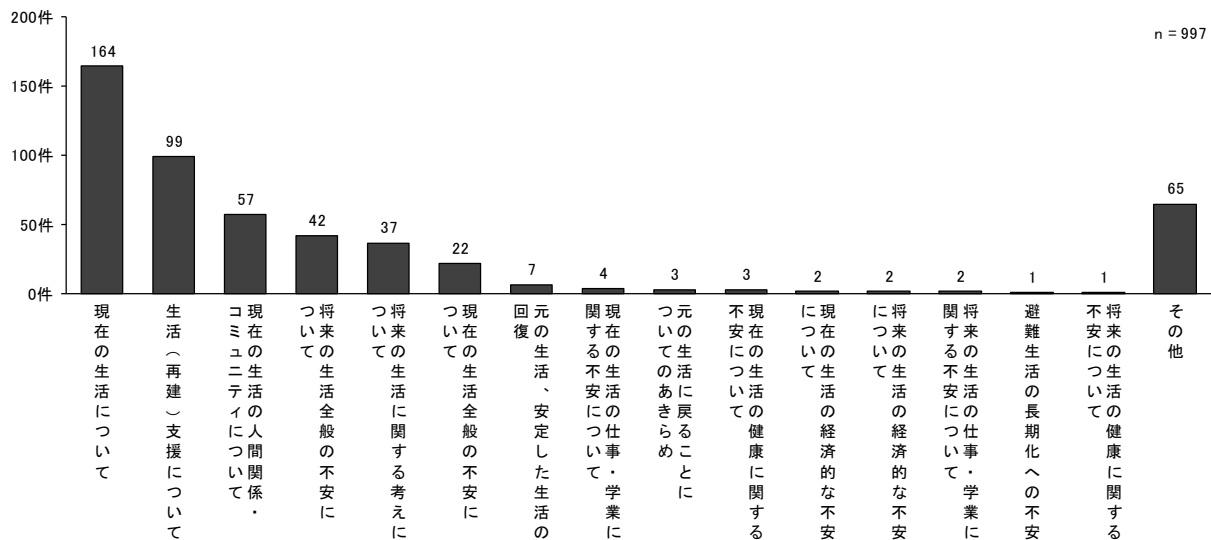
3-6-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-6-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-6-2 生活について

<図表3-6-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【現在の生活について】

- ・南相馬市はとても良いところでした。震災がなければ…とよく考えます。なかなか行けないので近いうち遊びに行きたいです。（40代）
- ・高齢者の暮らしが不便だと思います（買い物特に）。自宅への配送（なんらかの注文方法）等をシステム化してほしいです。一人暮らしで協力者がいない状況だと日々の食品調達も不安です。車の運転も難しい年になると深刻です。（50代）
- ・地元に戻って、普通の生活ができるようになり、多少不便さはあっても満足しています。（70代以上）

【生活（再建）支援について】

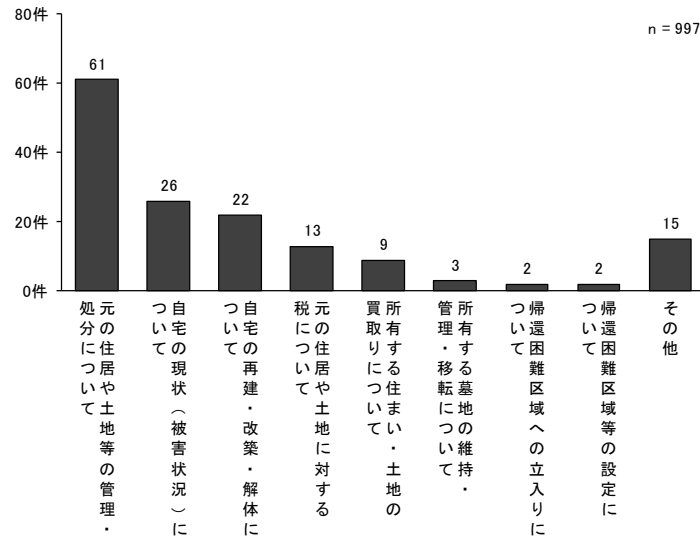
- ・子供を産み、育てるための補助制度を増やしたり、より良いものにしてほしい。また、どのような制度があるのかわかりやすくしてほしい。（10～20代）
- ・高速道路、医療費の免除は今後も続けて欲しい。義援金などの分配があればありがたいです。故郷（小高）での楽しかった思いを大切に、前進！！困難に負けず頑張ります。（40代）
- ・老後に不安があるため社会保障を充実させてほしい。年金も含めて。（50代）

【現在の生活の人間関係・コミュニティについて】

- ・震災の影響でなくなった人との関係性や、店、施設が少しずつ回復していているのを感じる反面、まだまだ時間がかかる事に少し残念な気持ちになります。これからも頑張っていきましょう。（30代）
- ・小高区では、震災後若い移住者が増え、大変喜ばしいことですが、市街地以外の行政区では、現役世代が少なく（いない地区もある）、道路等の草刈りなどの人足作業は、ほとんどが70歳を超える人たちで行っている。この世代が体力的にできなくなる5年後、地域の生活環境が維持できなくなることは、現時点でも明らかである。（40代）
- ・コロナ感染リスクがあるため、コミュニティで集まる機会が少ない。（50代）

3-6-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-6-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地等の管理・処分について】

- 元の住居の管理の為、これまではボランティアさんに頼み草刈りを頼んでいたが、市から渡された草刈り業者さんはどこもいっばいで頼むことすら出来ないのでもなんとかして欲しい。山林の草刈りも頼みたいが、市の方で渡された草刈り業者さんは山林の草刈りをやってくれないのでもなんとかして欲しい。（40代）
- 小高区に所有する農地の管理が悩み。私も病身で若くもない。子供も各々所帯をもつ。狭い農地は借り手もなく、太陽光で管理してもらおうとしても規制があって難しいところも。将来管理できなくなると藪や山になって獣が増え、人も少なくなる状況でとても心配。（60代）
- 空家になっている家を見に行きたいが、年齢の為長距離移動が無理で心配です。解体もしたいが費用が心配です。（70代以上）

【自宅の現状（被害状況）について】

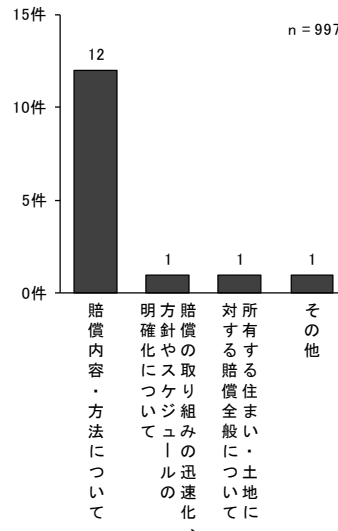
- 未耕作農地の草が生活環境を悪くしている。また農地を耕作してもイノシシやサルだけでなく、野ネズミやモグラが多くいるためサツマイモ等は、7～8割くらい荒らされる。対策をお願いしたい。（60代）
- 震災により避難生活が長く、帰還してみれば農地は荒れ放題。震災前は米、野菜を栽培していましたが、荒地になり隣の土地との境界が分からなく、作物の栽培ができません。（70代以上）
- サル、イノシシが庭にまで出て来て、怖くて困ってます。対策の強化をお願いしたいです。庭の植木も掘られたりしてます。小高に帰った時に、イノシシの被害でびっくりしてます。（70代以上）

【自宅の再建・改築・解体について】

- 南相馬市の自宅を修繕する為に補助金の充実をお願いしたい。（40代）
- 災害時、損壊状況によって家の解体があったが、あれは、家の内部の判断はなかった。震災から11年となり、いよいよ家の内部の損壊が悪化。今度は解体をして頂きたい。（60代）
- 現在小高に家は残っていますが、解体し建て替えしないといけない状態です。無償で解体の時は、まだまだ大丈夫と思っていたが地震の為、無人で置いていたことも重なりかなり傷んだ。解体費用は捻出出来ると思えない（とても足りない）。（70代以上）

3-6-4 賠償について

<図表3-6-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[賠償内容・方法について]

- 国はもっと手厚い保障をしていただきたい。半永久で良いと思う。東電の見通しが甘い。汚染水放出等、海への放出、デブリの取りだし等、様々な課題が沢山、国、東電、考えが甘い。南相馬双葉郡の町村の事をもう一度深く考えるべき。(60代)
- 裁判に加わらなかった世帯にも、故郷喪失保障を行うようにしてもらいたい。(60代)
- 賠償に不満がある。病院の無償化を続けて欲しい。地域毎の格差がありすぎる。(70代以上)

[賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について]

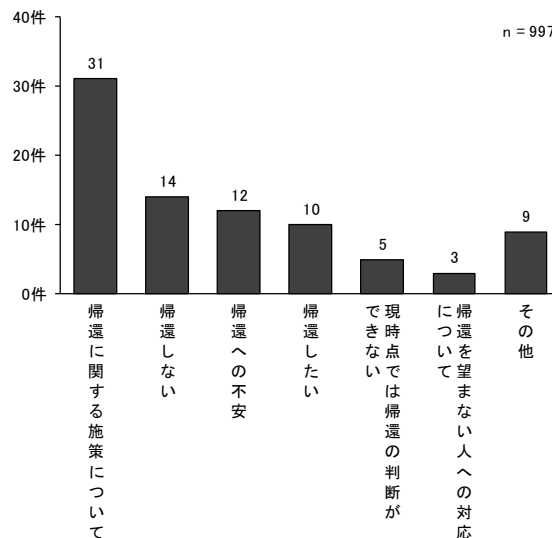
- 市長は解除の説明会で財物賠償金は全額支払うと公言した。未だに7/72は未払い…。早急に支払ってもらいたい。(70代以上)

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

- 南相馬市は避難解除が早すぎたため、もらえたらろう土地・建物についての東電賠償が目減りしてしまった。(40代)

3-6-5 帰還について

＜図表3-6-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- 若い人が戻れる様に子育ての方に力を入れてほしい。出産費用・補助など。（40代）
- 復興予算など国からの助成金、補助金のつく事業は何でもやりましょうというのは将来の施設の運営維持費などを考えると果たして本当に復興のためになっているのか疑問である。帰還する人、新たに住み始める人に手厚く居住を促進するような施策こそ大事なのではないか。モノからヒトへ。（50代）
- 若者が帰還し、定住させるためには、働く場の確保が必要。賃金が安定し、安心して働ける職場、雇用の確保が大事。（70代以上）

【帰還しない】

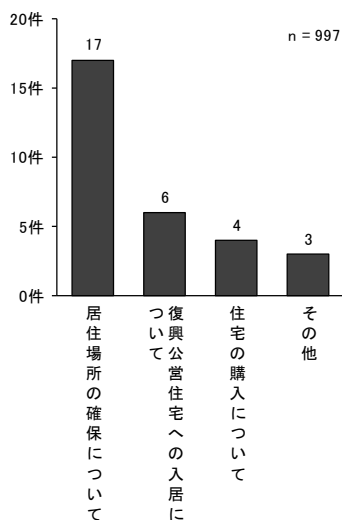
- 住居は、県外に家を建てています。市へ戻ることはないと思いますが、仕事で市に仮住まいしています。週末は、自宅へ帰るために、高速道路を利用しています。これから先、退職するまでこの生活が続くので、高速道路の現在の利用方法を継続してほしいと強く考えています。（50代）
- 廃炉の作業がいまだ完成していない状況及び地場産業の安定が望めないようなので戻る気持ちはない。（60代）
- ふるさとへ戻りたいですが年齢的にあきらめる、あきらめざるを得ない。農地があるので年に4～5回程度、日帰りで草刈り作業を実施している。行けるまで毎年続けるようにしたいです。（70代以上）

【帰還への不安】

- 基盤が出来ていない。店もきちんとした所が無い。薬局も無い…。不安だらけで帰りたいと思えない。（40代）
- 医療体制が整っていない。今の状況だと車の運転ができなくなると小高区には住めない。若い人が戻ってこないと未来はないと感じる。（50代）
- ふるさとに戻って生活したいが現状及びその先が本当に不安。再度の移住などは考えられない。苦しくても現状で様子見の状況。（70代以上）

3-6-6 避難期間中及び将来の住宅について

<図表3-6-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【居住場所の確保について】

- アパートの家賃が高く移住のハードルが高いと感じる。公営住宅に住むことのできる期間を延長してほしい。（10～20代）
- 小高区に住み続けたいと思っているが、買い物に不便なのと不便な割に土地の値段が高く中々手が出ない状況です。（30代）
- 原発事故以来10年、子供や孫は成長し離れて行きます。その後は一人暮らしの老人が増えております。各市町村に、老人が安心して過ごせる住宅等あればと願っております。（70代以上）

【復興公営住宅への入居について】

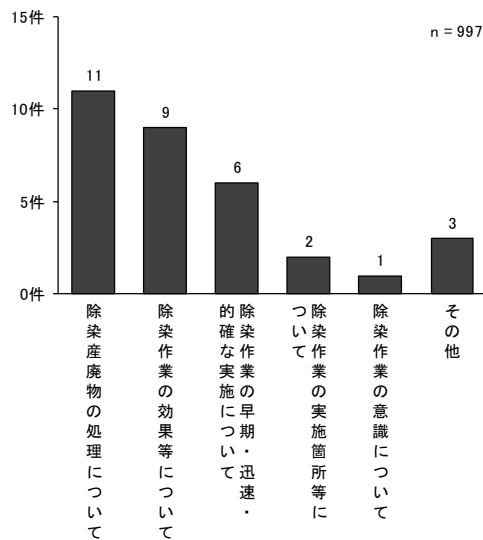
- 市の復興と言っていますが、なかなか戻って来ない人のために復興住宅を確保するのはいつまでやるのか？住宅に入りたくてもなかなか入れない状況なのでもう少し考えてほしい。（50代）
- 県復興住宅、入居審査について、家のある方の入居は不可と言うことですが、家があっても入居できている方もいるようです。審査の徹底をお願いします。（60代）
- 復興住宅、団地があいているのであれば、母子家庭、父子家庭の人でも入居できるようにしてもらいたい。（70代以上）

【住宅の購入について】

- 現在南相馬市の補助体制に疑問を持っています。元々市内に住んでいた人に対しての補助が少なく、市外からの人には手厚くなっています。私は市内に永住を決め、家を建てましたが、一切の補助を受けることができませんでした。少しでも受けられると助かる部分がありましたが、ないため市への魅力が感じられません。市外からの人の受け入れも大切だと思いますが、元々在住していた住民も大切にしてほしいです。（30代）
- 南相馬市に居住したが、県外からの居住者には助成金が出るのに県内からの居住者には、何も無い。南相馬市に定住した者は県外、県内とも同じだと思うので助成金があると、家の改装（購入一戸建）に役立つ。（50代）
- 現在災害住宅に住んでいるが、金額に応じて安ければ買いたい気持ちもある。（70代以上）

3-6-7 除染について

<図表3-6-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染廃棄物の処理について】

- 原発の汚染水を海に流すのが心配（魚介類など食べ物への影響）。（30代）
- 汚染土壌等の仮置場の周囲及び敷地内の管理が不十分。（70代以上）
- 第一原発の汚染水を薄めても放出しないで下さい。中間貯蔵地内にある放射線を含んだ土はいつから県外へ搬出するのでしょうか。（70代以上）

【除染作業の効果等について】

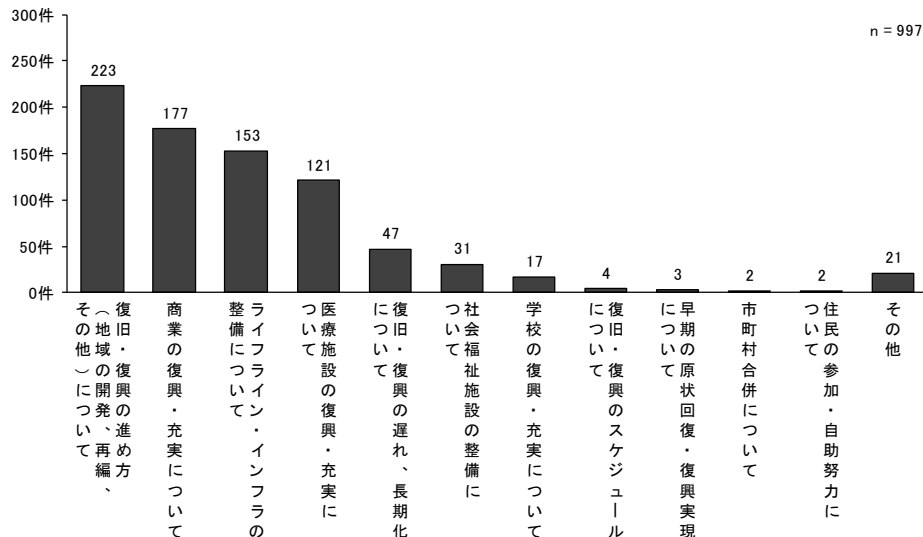
- 放射能は本当に大丈夫なのか。今も少しも考えが決められない。現状、もう一度全体の放射線を調べてもらって安心できたら良いかな。（70代以上）
- 放射線量低下はまだまだです。たけのこや山のきのこ等、まだ食べられません。早く食べられるようにしてほしいです。（70代以上）
- 山菜物は何年経っても放射線の基準値にならず、除染が足りないと不安な毎日。放射線の人体の影響も不安です。（70代以上）

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 可能な限りに放射線を普通レベルに下げしてほしい。なぜ、浜通りの人間だけが！？不平等である。（60代）
- 帰還困難区域の除染を早期に実施し、線量を減らし、せめて短時間でも自由に入ることが出来るようにしてほしい。（70代以上）
- 生家に自由に出入りしたいが、帰還困難区域のため不可能。早期除染を望む。（70代以上）

3-6-8 復旧・復興について

＜図表3-6-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について〕

- ・「復興」のフェーズは終わりだと思います。新しい地域づくり＝移住者を増やすではないと思うので、競合が多い移住市場より、南相馬を想う／好きな人を増やすことが大事だと思います。（30代）
- ・地域全体で大規模な事業を起こし、魅力ある事業と知名度を上げ、雇用促進と持続性のある社会にしたい。医療費、学費、税金の軽減などの補助の充実で人をまず集める。（50代）
- ・限られた財源のなかで最大限努力してくれていると思う。11年経過しても以前の人口には戻らず、町の活気も失われた。社会的に少子高齢化が震災と原発事故によって急加速して一気に進んでしまった。食料生産の基盤である農地を守り、市街地のコンパクト化に向けて整備し、必要な施設がそばにあるまちづくりをしてほしい。（60代）

〔商業の復興・充実について〕

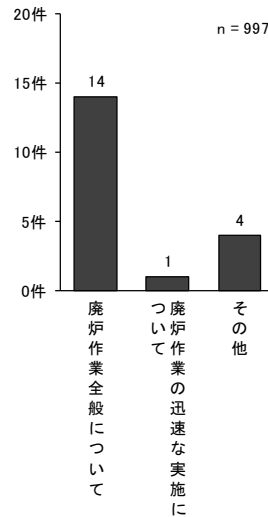
- ・ドラッグストアとパチンコ屋の数が増え、どこを見てもそれら店舗がある。これら以外の店を出店してほしい。業務用スーパーやディスカウントショップ等の買い物が一店舗で完了できる施設がほしい。（10～20代）
- ・飲食店や商業施設など、遠方に行かずとも行けるようにしてほしいです。（40代）
- ・日用品の購入には不自由を感じなくなってきたが、品質の良い物が欲しい時には、市外（県外）に出掛けなければならないのが不便。震災前にあった個性的なおもしろいお店が少なくなっているのも一因。（60代）

【ライフライン・インフラの整備について】

- 復興祈念館や防波堤に税金を使うなら、市内の道路に街灯を増やしたり、細い道を広げるなどに使ってほしい。自動車がないと生活が不便なのに、南相馬市内の道路は危険に感じる事が多々ある。（30代）
- 車がないとどこにも行けないので、親が免許返納できない。タクシーよりもバスなどを運行してほしい。通学する高校生や年寄りが助かる。車社会で利便性が不便なので、将来、南相馬に住んでいる事が不便である。（仙台や郡山に引っ越したくなる！！）病院に自由に行くには、バスは不可欠である。（40代）
- 社会インフラ整備や公共サービス提供は、市街地と農業地区では格差がある。我々の行政区では、水道、下水道もなく、生活用水排水路（雨水を含む）さえ整備されていない場所が見受けられる。津波被害により南相馬市で買い取った土地は、年2回の草刈りのみで荒れ放題である。何とかしてほしい。（60代）

3-6-9 原発の安全性について

<図表3-6-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[廃炉作業全般について]

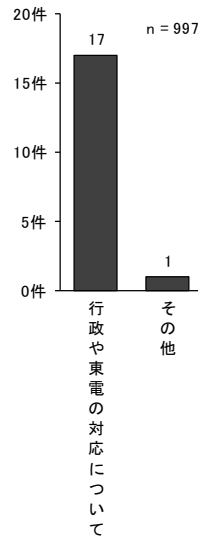
- 廃炉作業が終わってない。震災前の街になってないので、まだまだ復興とは言えないと思います。今後も引き続き、国、県、市の支援を願いたい。(60代)
- 30~40年位かかると言われている廃炉作業、安全第一に行ってほしい。若い人達は一番心配している事です。(70代以上)
- 今なお廃炉作業に携わっている方々、特にコロナ禍・熱中症に留意しながらの作業に頭が下がります(心が痛みます)。(70代以上)

[廃炉作業の迅速な実施について]

- 廃炉を加速してもらいたい。地域復興の足かせとなっている。(60代)

3-6-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-6-10 原発事故に対する対応についての意見＞



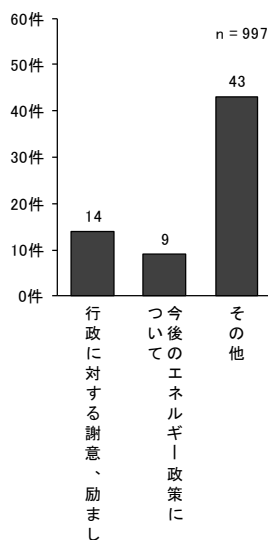
上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- 国には、安全神話をつくりあげ、原発を推進してきたこと責任を取って、誠意ある対応を求めたい。（40代）
- 東電事故汚染水放出に対する風評対策をしっかりとしてほしいです。（50代）
- 現在、避難指示が解除されている地域も避難指示が出なかった地域も、放射性物質は残留している。国や県は、住民の生命を守るために、放射線防護措置で健診の実施、放射線防護のための教育を行うなどの対策を取るべきだ。（70代以上）

3-6-11 その他

＜図表3-6-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 震災から11年経ちますが、当時と比べると大分復興に力を注がれたのだと普段生活をしていて感じるどころであります。これからも頑張ってください。（10～20代）
- 市職員の皆様、復興に向けての活動に大変なことと思います。影ながら応援させていただきます。（60代）
- 平日頃より帰宅等の支援策、活動に御配慮頂き、感謝いたします。生まれ育った町地域に愛着は、消えない日々の生活です。若い先短い年齢ですが、少しでも、小高への恩返しが出来ればと思っています。今後共ご活躍・ご健康をお祈り申し上げます。（70代以上）

【今後のエネルギー政策について】

- 原発で発生する「核のゴミ」処分の課題が解決されぬまま新設計画が出てくる事に、11年前の事故の教訓が生かされているのか疑問を感じます。今後の原子力行政の明確なビジョンを示さなければ、この地域に戻る事への不安払拭にならないと思う。（50代）
- 可能な限り原発依存度を低減して欲しい。（70代以上）
- 早く原発がないようにしてほしい。電気はソーラーパネルにして補助を今以上に出してほしい。（70代以上）

IV 參考資料

4-1 使用調査票

南相馬市 住民意向調査

● 調査をお願いする方

- ・ 震災発生時、南相馬市の避難指示区域内に住民登録していた世帯の代表者の方または令和4年8月1日時点で南相馬市の避難指示区域内に住民登録のある世帯の代表者の方をお願いいたします。

● 回答方法

- ・ ご回答は、選択肢の中からあてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・ ○をつけた回答の後ろに()がある場合、()内に具体的な内容もご記入ください。
- ・ ご回答は、記入する日時点の状況について、お答えください。

● 個人情報の取り扱いについて

- ・ 調査票に記載いただいた個人情報は、南相馬市、福島県及び復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・ また、回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● 提出方法

- ・ 回答済みの調査票は、10月4日(火)までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-951-249

[設置期間：9月21日(水)～10月4日(火)]

平日 10時～17時

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 避難地域復興課

Tel 024-521-8439

南相馬市

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地

南相馬市 被災者支援課

Tel 0244-24-5223

はじめに、回答いただくあなたご自身の現在の状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 1 あなたの性別、年齢について教えてください。

性別	1. 男	2. 女	3. 無回答
年齢(ご記入ください)	才		

【すべての方に伺います。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者 (継続中もしくは再開済)	6. パート・アルバイト
2. 自営業・会社経営者(休業中)	7. 無職(職を探していない)
3. 会社員	8. 無職(職を探している)
4. 団体職員	9. その他(具体的に
5. 公務員)

あなたの東日本大震災発生時の状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 3 震災発生当時にお住まいだった居住地を教えてください。(○は1つ)

南相馬市内の旧避難指示区域			原町区	その他
小高区				
中部	西部	東部		
1. 一区	13. 飯崎	25. 女場	40. 雫	54. 原町区
2. 二区	14. 角間沢	26. 角部内	41. 小浜	55. 鹿島区
3. 三区	15. 小谷	27. 上蛭沢	42. 下江井	56. 市外
4. 四区	16. 摩辰	28. 下蛭沢	43. 小沢	
5. 五区	17. 南鳩原	29. 浦尻	44. 堤谷	
6. 小高	18. 北鳩原	30. 下浦	45. 江井	
7. 片草	19. 羽倉	31. 行津	46. 米々沢	
8. 吉名	20. 大富	32. 上浦	47. 大甕下	
9. 岡田	21. 金谷	33. 神山	48. 高一	
10. 川原田	22. 川房	34. 上耳谷	49. 高二	
11. 大井	23. 大田和	35. 下耳谷	50. 小木迫	
12. 塚原	24. 小屋木	36. 泉沢	51. 鶴谷	
		37. 福岡	52. 馬場	
		38. 村上	53. 高倉	
		39. 井田川		

【問3で「54」～「56」以外を回答した方に伺います。】

問 4 震災発生当時のお住まいが、平成24年度の避難指示区域見直し時点において、以下の各区域のどこに該当していたかを教えてください。(別途同封しております、「南相馬市地図」をご参考ください。)(○は1つ)

1. 帰還困難区域
2. 居住制限区域
3. 避難指示解除準備区域
4. わからない

【すべての方に伺います。】

問 5 震災発生当時にお住まいだった住宅形態を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------|------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | } ⇒ <u>問 6 へ</u> | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | } ⇒ <u>問 6 へ</u> | 9. その他(具体的に) |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | | |
| 5. 公営住宅 | | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | | |

問 5 で「3」から「9」を選んだ方は問 8(4 ページ)へ

【問 5 で「1. 持ち家（一戸建）」「2. 持ち家（集合住宅）」と回答した方に伺います。】

問 6 **震災発生当時**にお住まいだった住宅は、現在どのような状況か教えてください。

(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none">1. 居住中2. 建て替えた3. 売却した4. 賃貸している5. 空き家になっている6. 解体し空き地になっている(申請中も含む)7. その他(具体的に	} ⇒ <u>問 7 へ</u>
)	

↳ 問 6 で「1」から「4」、「7」を選んだ方は問 8(4 ページ)へ

【問 6 で「5. 空き家になっている」「6. 解体し空き地になっている(申請中も含む)」と回答した方に伺います。】

問 7 **震災発生当時**にお住まいだった住宅(土地)を、今後どのように利用したいか教えてください。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none">1. 売却または賃貸したい2. 解体したい3. 建て替えしたい4. 決めかねている(しばらく現状維持)5. その他(具体的に	}
)	

↳ 問 8(4 ページ)へ

あなたの現在の状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 8 現在、あなたはどちらにお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 震災発生当時の住居 | ⇒ <u>問 10 へ</u> |
| 2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)の住居 | ⇒ <u>問 10 へ</u> |
| 3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居 | ⇒ <u>問 9 へ</u> |
| 4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している | ⇒ <u>問 9 へ</u> |
| 5. 南相馬市以外 | ⇒ <u>問 9 へ</u> |

【問 8 で「3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「5. 南相馬市以外」と回答した方に伺います。】

問 9 現在、あなたがお住まいの場所を教えてください。(○は1つ)

※「4.震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方は、震災発生当時の住居でない方のお住まいの場所についてお答え下さい。

- | |
|--------------|
| 1. 小高区 |
| 2. 原町区 |
| 3. 鹿島区 |
| 4. 南相馬市以外 |
| →具体的にご記入ください |

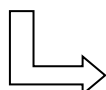
(都・道・府・県)

(市・区・町・村)

【すべての方に伺います。】

問 10 現在、あなたがお住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 南相馬市営の災害公営住宅 | 6. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 福島県営・南相馬市営の復興公営住宅 | 7. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| 3. その他の公営住宅(「1」と「2」は除く。) | 8. 親戚・知人宅 |
| 4. 民間賃貸住宅 | 9. その他 (具体的に |
| 5. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |) |



現在、南相馬市にお住まいの方は問 11(5 ページ)へ

それ以外の方は問 18(7 ページ)へ

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 11 現在の場所にお住まいの理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 住み慣れているから	10. 気候が温暖だから
2. 家(自宅)があるから	11. 交通が便利だから
3. 家族や親せき、友人などがいるから	12. 買い物が便利だから
4. 妊娠・出産の支援が充実しているから	13. 娯楽施設があるから
5. 子育てがしやすいから	14. 文化施設が整っているから
6. 教育環境が整っているから	15. スポーツ施設が整っているから
7. 医療が充実しているから	16. 復興に貢献したいから
8. 仕事があるから	17. 特に無い
9. 自然環境に恵まれているから	18. その他(具体的に
)

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 12 現在の主な日用品(食料品・生活用品)の買い物先を教えてください。

(○は1つ)

1. 小高区	4. 浪江町
2. 原町区	5. 相馬市
3. 鹿島区	6. その他(具体的に
)

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 13 現在の主な通院先を教えてください。(○は1つ)

1. 小高区	4. 浪江町
2. 原町区	5. 相馬市
3. 鹿島区	6. その他(具体的に
)
	7. 通院していない

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 14 現在の買い物や通院のための主な交通手段を教えてください。(○は1つ)

1. 自家用車(自己運転)	6. 知人・友人の自家用車
2. ジャンボタクシー(予約制乗合)	7. 鉄道
3. 定額タクシー(みなタク)	8. 徒歩・自転車・原付バイク
4. タクシー(「2」と「3」以外)	9. その他(具体的に
5. 家族の自家用車)

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 15 現在お住まいの場所での隣組への加入状況を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------------|----|---|
| 1. 加入している
2. 加入していない | 理由 |) |
| | | |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 16 現在、地域活動に参加している場合、該当するものを教えてください。

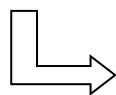
(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|------------|---|
| 1. 行政区の活動 | 5. 道路愛護会 |) |
| 2. 老人会 | 6. その他 | |
| 3. サロン活動 | 具体的に |) |
| 4. 市民活動団体事業 | | |
| | 7. 参加していない |) |
| | 理由 | |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 17 現在のボランティア活動への参加の意向を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|----|---|
| 1. 参加したい | 理由 |) |
| 2. 参加したくない | | |
| 3. 参加できない | | |



震災当時、南相馬市内にお住まいだった方は問 18(7 ページ)へ
それ以外の方は問 24(10 ページ)へ

将来に関するご意向について教えてください。

問 18～問 23 (7～9 ページ) は、震災当時、南相馬市内にお住まいだった方がお答えください。
 ※それ以外の方は、問 24 (10 ページ) へお進みください。

【震災当時、南相馬市内にお住まいだった方に伺います。】

問 18 南相馬市への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 既に南相馬市に戻っている | ⇒ 問 24 へ |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ 問 19 へ |
| 3. まだ判断がつかない | ⇒ 問 22 へ |
| 4. 戻らないと決めている | ⇒ 問 22 へ |

【問 18 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 19 南相馬市への今後の定住先について、現時点でどのようにお考えですか。

(○は1つ)

1. 震災発生当時の住居に住みたい
2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)に住みたい
3. 南相馬市内(震災発生当時の地区以外)に住みたい
4. 震災発生当時の住居と現在の住居を行き来したい

【問 18 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 20 現時点での住みたい時期についてお聞かせください。(○は1つ)

1. 1年以内に住みたい
2. 3年以内に住みたい
3. 5年以内に住みたい
4. しばらく様子を見たい

【問 18 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 21 「住みたい時期」の理由についてお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 新築やリフォーム等による住まいの確保が可能となる時期であるため
2. 学校の入学、卒業など子どもの学校の状況に応じた時期であるため
3. 近所の方と帰る時期を相談し決めているため
4. 借り上げ住宅など住宅に関する支援が終了したため
5. その他〔具体的に

【問 18 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

問 22 南相馬市への帰還について、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

【原発・健康不安に関わるもの】

1. 放射線量の低下、除染の効果に不安があるから
2. 放射線による人体への影響に不安があるから
3. 原子力発電所の安全性(廃炉作業の難航)に不安があるから
4. 中間貯蔵施設建設に遅れがあるから
5. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

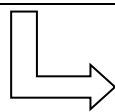
【復旧・復興状況に関わるもの】

6. 南相馬市に戻っても仕事がなさそうだから
7. 南相馬市での事業の再開が難しいから
8. 営農などができそうにないから
9. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
10. 道路・鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. すでに恒久的住宅を取得したから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 津波被害により災害危険区域に指定され自宅に戻れないから
18. 避難先で仕事を見つけているから
19. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
20. 避難先の方が、生活便利が高いから
21. すでに生活基盤ができているから
22. 家族間での意見が分かれており、帰還意向について回答できない
23. その他

具体的に



問 18 で「3.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 23(9 ページ)へ

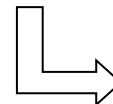
問 18 で「4.戻らないと決めている」を選んだ方は問 24(10 ページ)へ

【問 18 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 23 南相馬市へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。

(〇はいくつでも)

1. 公共交通機関の状況
2. 医療機関(診療科)の状況
3. 介護・福祉施設の状況
4. 保育・教育環境の状況
5. 商業施設の状況
6. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
7. どの程度の住民が戻るかの状況
8. 中間貯蔵施設に関する情報
9. 原子力発電所の安全性に関する情報(廃炉作業の状況)
10. 放射線の人体への影響に関する情報
11. 働く場の確保の見通し
12. 公営住宅・居住環境の状況
13. 住宅確保への支援に関する情報
14. 有害鳥獣対策の強化
15. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出
16. その他(具体的に)
17. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
18. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない



問 24(10 ページ)へ

国や福島県、南相馬市へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方に伺います。】

問 24 市の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望、国、県、市への要望などをご自由にお書き下さい。

震災発生当時、南相馬市にお住まいでなかった方は、以上で本調査は終了となります。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

震災発生当時、南相馬市にお住まいだった方は、次ページの「ご家族の現在の状況について」にご回答いただき、本調査は終了となります。

震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。

ご家族の現在の状況について

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。

※世帯の代表者のことを記入いただく必要はありません。

	世帯の代表者との続柄	性別	年齢	今後の住まいの意向	住みたい時期
	表1から選んでください(1つ)	番号を○で囲んでください	現在の年齢を記入してください	表2から選んでください(1つ)	表3から選んでください(1つ)
記入例	[1]	1.男 2. 女	[30]	[3]	[1]
1人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
2人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
3人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
4人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
5人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
6人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
7人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]

表1	1. 妻・夫	5. 父・母
世帯の代表者との続柄	2. 子	6. 祖父・祖母
	3. 孫	7. その他
	4. 兄弟・姉妹	

表2	1. 震災当時の住居に住みたい(住んでいる)
今後の住まいの意向	2. 震災当時の住居ではないが、 同じ地区(小高区・原町区)に住みたい(住んでいる)
	3. 南相馬市内(震災当時の地区以外)に住みたい(住んでいる)
	4. 震災発生当時の住居と現在の住居を行き来したい (行き来している)
	5. 現時点では、まだ判断がつかない
	6. 南相馬市以外の場所に住みたい(住んでいる)

表3	1. 既に住んでいる
南相馬市に住みたい時期(表2で1～4を選んだ方のみ回答)	2. 1年以内に住みたい
	3. 3年以内に住みたい
	4. 5年以内に住みたい
	5. しばらく様子を見たい

以上でご回答いただく内容は終わりです。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。同封の返信用封筒にご記入済みの調査票を入れて、10月4日(火)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

**南相馬市 住民意向調査
報告書**

令和5年3月

復興庁 福島県 南相馬市

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター